

厚生労働科学研究費補助金
障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））
アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究
（研究代表者 樋口 進）

平成 28 年度総括分担研究報告書
アルコール依存症家族の支援に関する研究
研究分担者 成瀬 暢也 埼玉県立精神医療センター 副院長

研究要旨

アルコール依存症は家族を巻き込む病気であると言われる。アルコール依存症の治療・支援が十分とは言えないわが国において、負担は家族に向かう。本研究では、家族に対する調査研究によりその実態を把握し、家族支援に必要なものは何かを明らかにする。特に相談機関や依存症医療機関に繋がって間もない家族に焦点を当てる。さらに、先行研究や対照群である薬物依存症家族との比較により、具体的で実現可能な支援について検討する。そこで得られた結果をもとに、家族支援の必要性を具体的に啓発していく。

調査対象はアルコール 525 例、薬物 431 例であり、調査経路に相違があるため確定的には言及できないが、平成 20 年度の調査に比べて、家族支援については目立った改善があるとはいいがたい。昨年度までに、アルコールに問題のある人の家族の調査を終えており、本年度はこれと比較するために、対照群として薬物に問題のある人の家族の調査を実施した。先の 431 例の回答を基に考察した。

本研究では、支援につながって間もない家族を主対象としていることから、家族の不安や混乱に対応した細やかな対応・支援の必要性が明らかとなった。

研究協力者

森田展彰：筑波大学医学医療系

吉岡幸子：埼玉県立大学健康福祉医療学部

新井清美：首都大学東京健康福祉学部

主に薬物依存症患者の家族を対象とした。

B．研究方法

下記の通り研究を実施した。

1) 調査票の作成

全国の精神保健福祉センター・保健所などの相談機関用、依存症医療機関用、保護観察所用に分け、それぞれの機関に、家族自身(対象者)の相談や問題を持つ本人(当事者)の受診に同伴した家族(対象者)に対して、対象者の属性、生活状況、当事者の状況、対象者が問題と感じていること、対象者のストレス状況、相談や受診に至る状況・困難、家族グループとの繋がり、今後必要とする支援などについて過不足なく調査できるものを作成した。

2) 調査対象・調査場所

対象は、全国の精神保健福祉センター・保健所などの相談機関、及び全国の依存症治療を実施している医療機関、保護観察所、家族会など

A．研究目的

当研究者等は、平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金の助成により、2500 名以上の家族から調査協力を得て実態とニーズについて調査を行った。その結果、アルコール依存症・薬物依存症患者の家族は深刻なストレス状況にあり、実態を踏まえた十分な支援体制の構築が必要であることが明らかとなった。しかし、その対象者の多くがすでに支援機関やグループに繋がり、患者も良好な状態にあった。本研究では、相談機関や依存症医療機関に繋がって間もない(3 か月以内)家族の実態とニーズについて明らかにする。昨年度に実施したアルコール依存症患者の家族と比較する目的で、今年度は

に、薬物関連の問題で相談あるいは受診に同伴した家族とした。

3) 調査方法

上記相談機関及び治療機関に協力を依頼し、理解と同意を得て、各機関の相談・治療スタッフを介して、無記名自記式質問調査票を対象者に配布し調査への協力を依頼した。回答後の調査票を郵送にて回収した。

研究方法

【無記名自記式質問紙調査】

【アンケート依頼先】

- ・ 薬物依存症を診ている病院・クリニック
- ・ 全国の精神保健福祉センター
- ・ 全国の保健所
- ・ 全国の保護観察所
- ・ 全国の家族会・ダルク

繋がって間もない家族
(おおよそ3か月)
にアンケート依頼

調査項目と倫理的配慮

【調査項目】

- ・ 調査票配布機関、居住地
- ・ 基本属性(回答者・本人の年齢・性別・属性、同居家族)
- ・ 当事者の薬物使用状況
- ・ 当事者の司法・援助機関との関わりの有無
- ・ 家族の医療・支援機関等への相談状況
- ・ 満足度
- ・ 当事者との関係
- ・ K6(気分・不安障害等のスクリーニング・テスト)
- ・ 当事者の持つ問題

【倫理的配慮】

埼玉県立医療センター倫理委員会承認後に実施し、回答後の調査票は無記名・郵送法にて回収、調査票の回答をもって同意を得た

4) 結果の分析

まず、基本統計量を算出した。次に、家族が当事者の薬物関連の問題に気づいてから相談あるいは受診につながるまでの期間を1年未満、1~3年、4年以上の3群に分け、²検定、一元配置分散分析を用いて相談につながるまでの期間による家族の実態とニーズの差を検討した。

5) 結果の公表・啓発

本研究で得られた結果をまとめた報告書を、研究協力機関をはじめ、関連機関へ配布すると

ともに、フォーラム等の開催により啓発活動に繋げる。

(倫理面への配慮)

本研究は、埼玉県立精神医療センター倫理審査を受けて実施した。

各機関に対して文書あるいは可能な限り直接、調査の目的、方法、倫理的配慮等を説明し理解を得て協力を依頼した。各機関の協力者から対象者に対して、文書及び口頭で調査目的、方法、倫理的配慮等を説明し、協力を依頼し、調査協力に同意の得られた対象者に調査票を配布、回答を求めた。

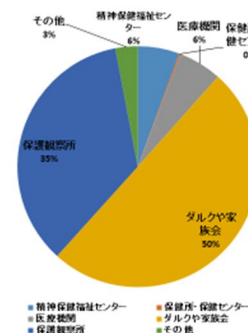
C. 研究結果

回収状況を図1に示す。2,059件配布し、431件(回収率20.9%)から回答が得られた。

回収先は、ダルク・家族会50%、保護観察所35%、医療機関と精神保健福祉センターがそれぞれ6%であった。

調査票の回収状況

<今回の調査> 配布数:2,059件
回収数:431件(回収率20.9%)



<前回(2008年)の調査> 配布数:1,298件
回収数:553件(回収率42.6%)

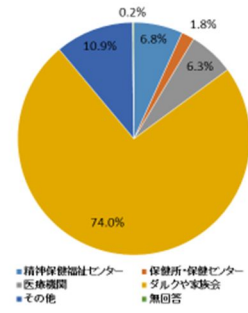


図1 調査票の回収状況

性別・年齢・続柄(表1)

家族の性別は、男性125名(29.0%)、女性304名(70.5%)であり、平均年齢は、それぞれ64.4歳(SD:9.5)、60.9歳(SD:11.1)であった。続柄は、親が77.5%、子供7.7%、配偶者5.1%、兄弟姉妹3.5%であり、親が多数を占めた。一方、当事者の性別は、男性356人(82.6%)、女性72人(16.7%)であり、平均

年齢は、それぞれ 37.9 歳 (SD:9.6) 33.2 歳 (SD:8.0) であった。

表 1 対象者の背景

対象者の背景			
		人数	%
記入者性別	男性	125 (平均64.4歳, SD:9.5)	29.0
	女性	304 (平均60.9歳, SD:11.1)	70.5
	無回答	2	0.5
当事者性別	男性	356 (平均37.9歳, SD:9.6)	82.6
	女性	72 (平均33.2歳, SD:8.0)	16.7
	無回答	3	0.7
当事者との関係	親	334	77.5
	配偶者	22	5.1
	子ども	33	7.7
	兄弟姉妹	15	3.5
	その他	20	4.6
	無回答	7	1.6

剤が突出していた。一度でも使ったことのある(と思う)薬物は、覚せい剤 74.7%、精神安定剤・睡眠薬 34.3%、大麻 28.3%、シンナー 26.5%、危険ドラッグ 22.7%、鎮痛剤 14.6%などであった(図3)。

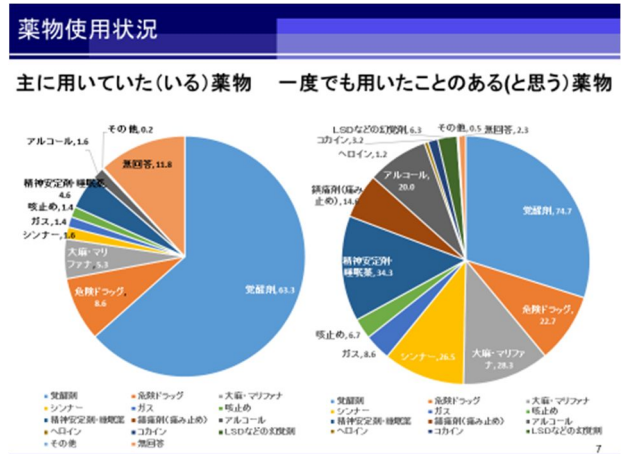


図 3 薬物使用状況

当事者の生活状況・就労状況(図2)

当事者の居住地は、刑務所が 39%、同居中と別世帯の住居が各 18%であり、ダルク入寮中は 14%であった。当事者の就労状況については、刑務所入所中 39%を除くと、家族の援助 31.8%、自分の収入 28.3%、生活保護 12.8%であった。

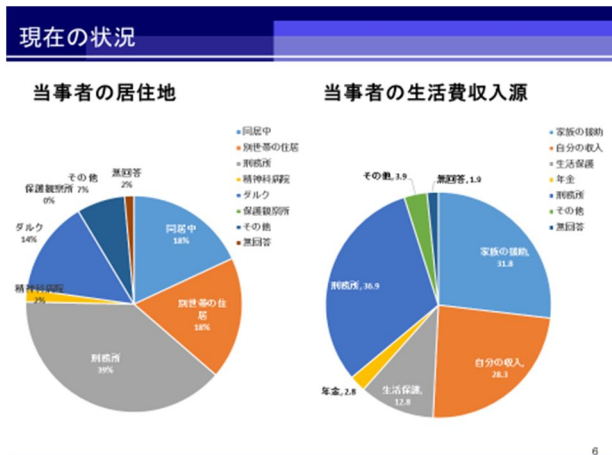


図 2 当事者の現在の居住と就労状況

薬物使用状況

当事者が主に使っていた薬物は、覚せい剤が 63.3%、危険ドラッグ 8.6%、大麻 5.3%、精神安定剤・睡眠薬 4.6%などであった。保護観察所からの回答が多かったこともあり、覚せい

当事者の薬物問題に家族が気づいてから、相談に行くまでの期間について、表 2 に示す。最初に薬物問題に気づいたときの当事者の平均年齢は 26.3 歳であり、家族が何らかの機関に最初に相談に行った時の当事者の年齢は 29.7 歳であったことから、この時間差が 3.4 年間であった。

調査経路別にみると、保護観察所が 29.3 歳時に気づき 34.1 歳時に相談しており 4.8 年間、医療機関・精神保健福祉センター等が 27.8 歳時に気づき 31.1 歳時に相談しており 3.3 年間、ダルクや家族会が 24.0 歳時に気づき 26.9 歳に相談しており 2.9 年間であった。ダルクや家族会につながった家族は、有意に短期間で相談につながっていたことがわかる。

表 2 薬物問題に対する発見・相談年齢

薬物問題に対する発見・相談年齢

	N	Mean	SD
当事者の薬物問題に最初に気づいた時の、当事者の年齢 (歳)	全体 416	26.3	9.3
	保護観察所	29.3	10.5
	センター、医療機関、その他	27.8	9.1
	ダルクや家族会	24.0	7.7
最初に相談に行ったときの当事者の年齢 (歳)	全体 307	29.7	10.5
	保護観察所	34.1	12.5
	センター、医療機関、その他	31.1	9.7
	ダルクや家族会	26.9	8.6

ANOVA **p<0.01, *p<0.05

□ 気づいた年齢、相談に行った年齢ともに、ダルクや家族会はセンター・医療機関、保護観察所に比べて有意に低い(早く相談に行っている)
 □ 気づいてから相談に行くまでに3.4年、保護観察所では4.8年、センター・医療機関等は3.3年、ダルクや家族会は2.9年を要していた

つぎに、薬物問題に気付いてから相談につながるまでの期間を図4に示す。分布によって見ると、1年未満が43.4%と最も多く、ついで6年以上が19.3%であり、両極端な結果が出ている。1年未満でつながるか、6年以上を要するかに分かれるという結果であった。今回の調査では、相談・医療機関につながって間もない家族を主対象としているため、このような結果が出ていると考えられる。

薬物問題を発見し、相談につながるまでの期間

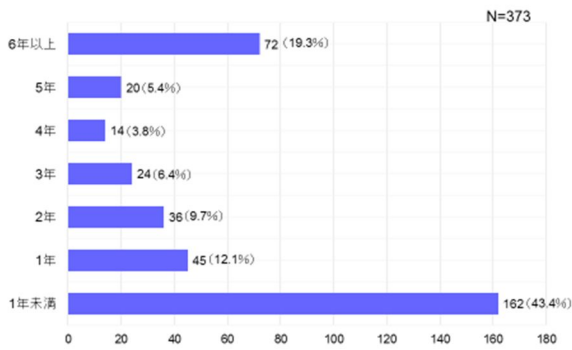


図4 家族が当事者の薬物問題に気づいてから相談につながるまでの期間

家族が当事者の薬物使用に気づいたきっかけで相談につながるまでの期間別に有意な差を認めたのは、「薬物による精神症状をみたため」、「警察の世話になるトラブルがあったため」、「その他」であった。薬物による精神症状をみたため、「警察の世話になるトラブルがあ

ったため」は1年未満が有意に回答頻度が低く、「薬物による精神症状をみたため」、「その他」は4年以上の回答頻度が有意に高い結果となり、相談までの期間が長いほど、家族は当事者の薬物による精神状況を体験し、相談につながるきっかけとなっていたことが示された(図5)。

当事者の薬物問題に気づいたきっかけ(期間別)

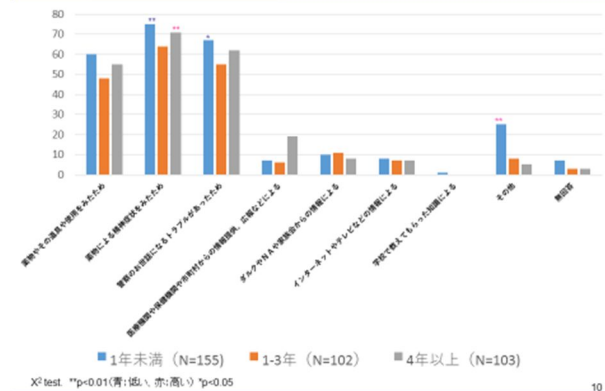


図5 家族が当事者の薬物使用に気づいたきっかけ

家族が最初に相談につながった先をつながるまでの期間別に見ると、1年未満の家族で警察と回答した頻度が有意に高く、家族や支援団体と回答した頻度が有意に低かった(図6)。

最初の相談機関

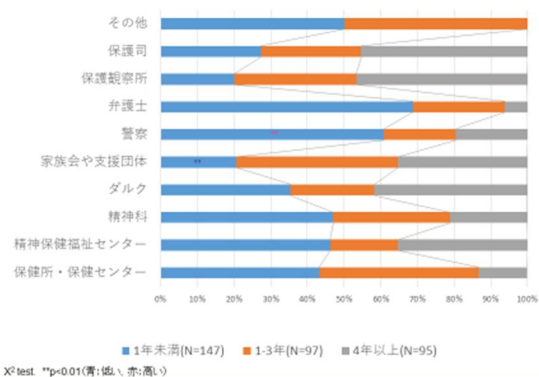


図6 家族が最初に相談した機関

初めて相談に行った先の家族の満足度と、相談機関の対応について図7に示す。最も満足度が高かったのは家族会や支援団体であり、次いでダルク、保護司、保護観察所、精神保健福祉

センターの順であった。精神科医療機関は、警察と同等かそれ以下で満足度は低かった。

相談機関の対応に関して、「親身に相談に乗ってくれて対応や治療について具体的に教えてくれた」と回答した家族が最も多かったのは、保護観察所で、次いで家族会や支援団体、ダルク、精神保健福祉センター、保護司と続いた。

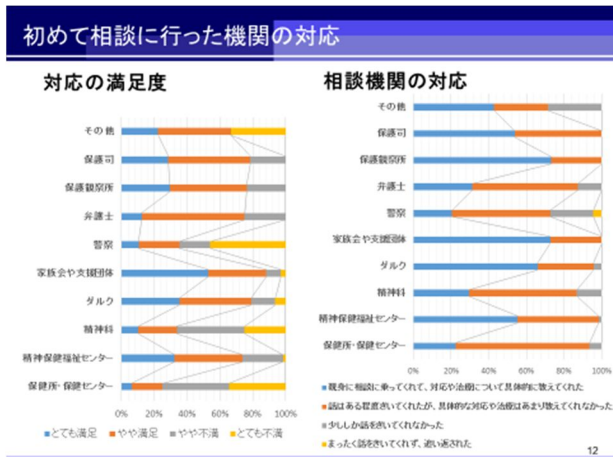


図7 初めて相談に行った機関の対応

相談するのが難しいと感じた経験については、相談につながる期間が1年未満の家族も、1~3年の家族も、4年以上家族も有意差はなかった(図8)。早くにつながった家族であっても、相談することの難しさを感じていることが示された。

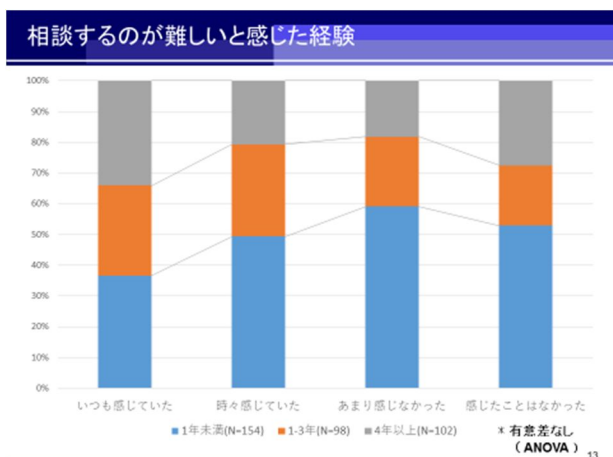


図8 相談するのが難しいと感じた経験

相談をすることが難しいと感じた原因は、相談までの期間が1~3年で「家族自身が疲れ切

ってしまい、相談をしようとする気持ちになれないため」の回答頻度が有意に高かったものの、その他の原因で相談までの期間による有意な差は認めなかった(図9)。

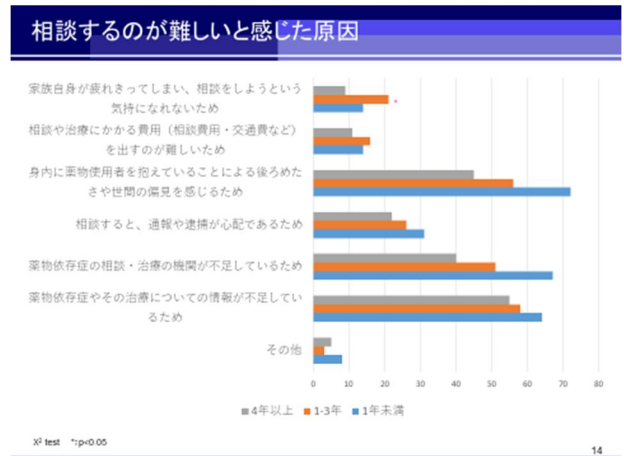


図9 相談するのが難しいと感じた原因

家族が感じている当事者の問題として、有意な差を認めた項目は「犯罪(薬物関連)」、「パートナー・親への暴力」、「脅しや言葉の暴力」、「ギャンブル問題」、「家庭内不和・別居・離婚」であった。相談までの期間が4年以上が他の期間よりも有意に高かったのは「ギャンブル問題」、「家庭内不和・別居・離婚」、1年未満よりも高かったのが「犯罪(薬物関連)」であった。また、1~3年が1年未満よりも有意に高かったのは「パートナー・親への暴力」、「脅しや言葉の暴力」であり、相談までの期間が長いほど家庭内外での問題が深刻化している状況が示された(図10)。

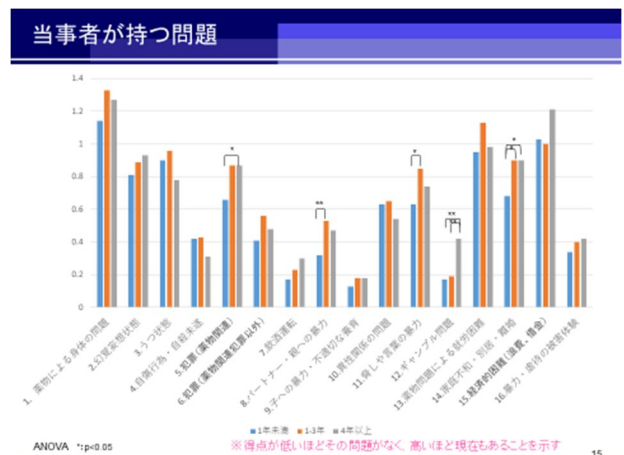


図 10 家族が感じている当事者の問題

当事者の薬物に対する考えと行動に関する点についても、早期に相談につながった家族と長期間かかった家族との間に違いはないかを確認した。当事者の薬物に対する考えと行動に関して、有意差を認めなかった（図 11）。

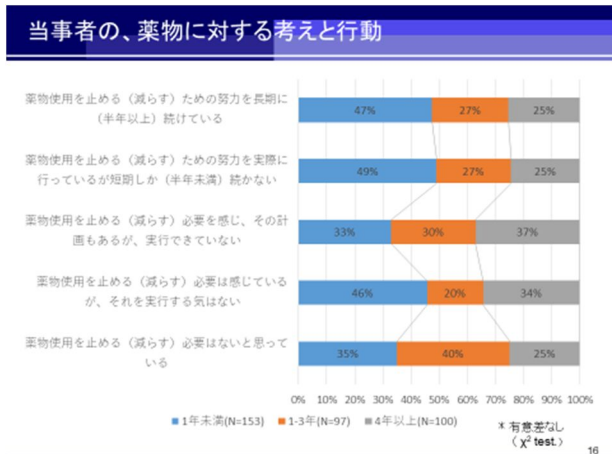


図 11 当事者の薬物に対する考えと行動

家族のここ1か月間の幸福感が高かったのは、「自分の時間が持てること」、「家事や身の回りのこと」、「娯楽や活動」、「家族関係」などで、「お金・経済状態」、「社会的な活動」、「あなたの感情」などで幸福感が低いという結果であった。

相談につながるまでの期間による家族の幸福感に有意な差を認めたのは「家事や身の回りのこと」のみであり、相談につながって1年未満の家族より、4年以上の家族でここ1か月間の幸福感が高いという結果が示された。

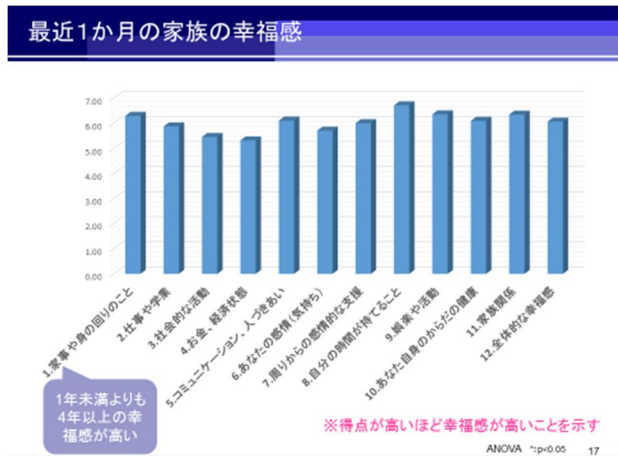


図 12 最近1か月の家族の幸福感

薬物問題や当事者への理解度について図 13 に示す。家族は、「問題となる薬物や悪影響について知っている」、「薬物依存症とはどういうものかわかっている」、「当事者への過保護・過干渉はよくないことをわかっている」、「自助グループやダルクについて知っている」などは理解できていると回答しているが、「当事者と薬物問題の治療・相談について話し合うことができる」、「薬物問題の相談・医療機関にアドバイスをもらうことができる」などができにくいと回答している。これらについては、相談につながる期間による有意な差は認めなかった。

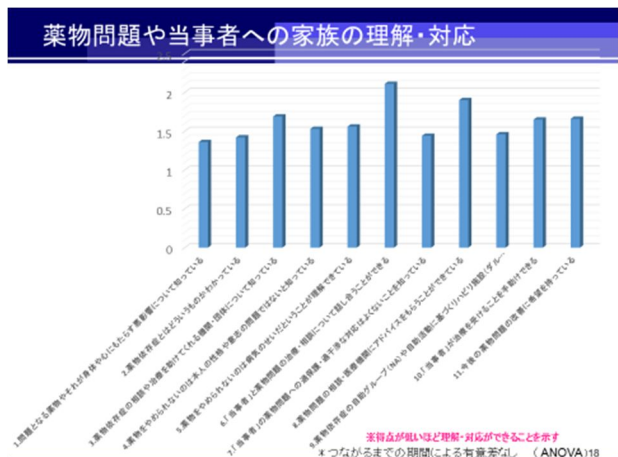


図 13 薬物問題や当事者への家族の理解・対応

当事者とのコミュニケーションについて図 14 に示す。「当事者の治療・回復に対する努力を誉めることができる」、「おちついて当事者の

回復を見守ることができる」、「当事者の無理な要求をきちっと断れる」などはできていたが、反対に「当事者におびえてしまう」、「当事者を責めてばかりになってしまう」などが特に難しく、次いで、「当事者に世話をやきすぎてしまう」、「当事者の問題に巻き込まれてしまう」、「当事者の心配で頭がいっぱいである」などであった。これらも相談につながるまでの期間による有意な差はみられなかった。

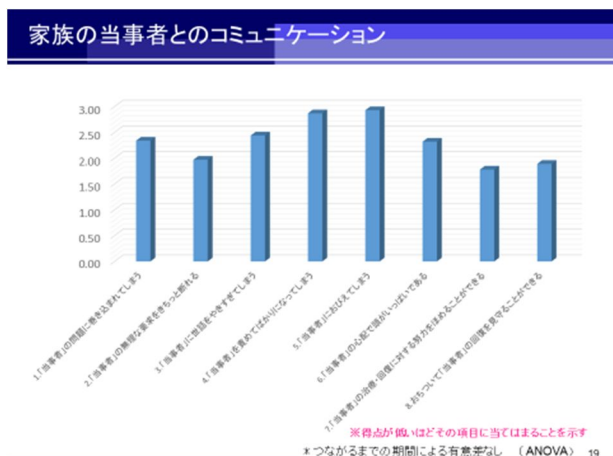


図 14 当事者とのコミュニケーション

家族の精神健康について、K6を指標に評価した(図15)。5点以上で精神的健康度に問題があることを示している。相談につながる期間による有意な差は見られないことから、いかに薬物の家族が精神的な健康度が低くなっているかわかる。

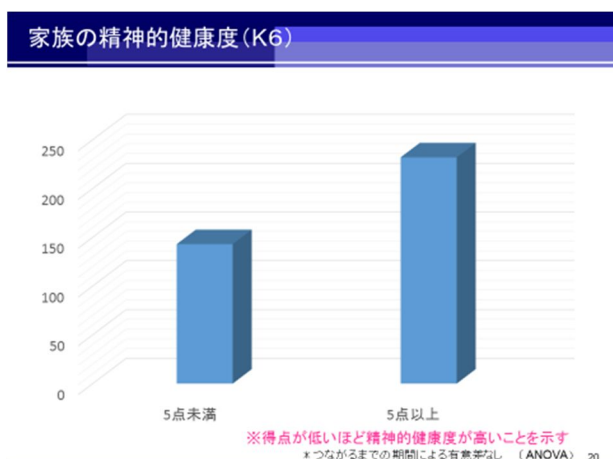


図 15 家族の精神的健康度

D. 考察

1) 調査の概要

今回の調査で回答の得られた431件の配布場所の内訳は、保護観察所152件(35.3%、2008年は配布無)、ダルク・家族会216件(50.1%、2008年は74.0%)、医療機関25件(5.8%、2008年は6.3%)、精神保健福祉センター24件(5.6%、2008年は5.8%)、保健所・保健センター1件(0.2%、2008年は1.8%)、その他13件(3.0%、2008年は10.9%)であり、前回はダルク・家族会からの回答、今回はダルク・家族会および保護観察所からの回答を合わせて85.4%を占めている。つまり、司法サイドの保護観察所を経由した回答が多数加わったことが特徴である。

2) 当事者の背景

前回同様、回答のあった家族の性別は女性が70.5%、当事者は男性が84.2%を占めていた。平均年齢を見ると家族、当事者ともにやや上昇している。当事者との関係を見ると前回は親が約9割を占めたのに対し、今回は親が77.5%と多いものの、子ども7.7%、配偶者5.1%、兄弟姉妹3.5%が回答している。このことから、薬物問題を持つ者の家族のうち、親の高齢化が推測される。

さらに、「家族が当事者の薬物問題に最初に気づいた年齢」26.3歳(SD:9.3)、「家族が最初に相談に行ったときの当事者の年齢」29.7歳(SD:10.5)を見ると、前回に比べて今回の方が、何れも5歳ほど年齢が上昇している。一方、最初に薬物問題に気づいてから相談までの期間は3.4年ほどの期間を要している。また、家族が当事者の薬物使用に気づいた年齢、相談に行った年齢ともに、ダルク・家族会は医療機関・精神保健福祉センターや保護観察所に比べて、それぞれの年齢が24.0歳、26.9歳と有意に低かった。つまり、ダルク・家族会では相談までに2.9年、医療機関・精神保健福祉センターでは3.3年、保護観察所では4.8年を要して

いた。

これらから、家族が相談や当事者の受診などにつながる場合はダルク・家族会、次いで医療機関・精神保健福祉センターであり、最も相談などにつながれなかった例は逮捕・服役等によりつながるようになったと考えられる。逮捕される前に家族が相談につながるように支援することが重要である。

主な使用薬物を見ると、前回調査では覚醒剤（50.8%）有機溶剤（10.7%）大麻・マリファナ（8.1%）の順に多かったが、今回調査では覚醒剤（66.3%）危険ドラッグ（8.6%）大麻・マリファナ（5.3%）となっている。

ここで、近藤ら2)の2010年の報告をみると、当事者が薬物使用を開始する年齢は平均17.9歳で、薬物使用期間は平均12.1年であり、主な使用薬物は覚醒剤（66.7%）大麻・鎮咳薬・睡眠薬（各14.3%）であったとしている。本調査では、当事者の薬物使用開始年齢についての項目は設けておらず、家族が当事者の薬物問題に気づくまでの期間までは示すことができないが、問題に気づき、相談する年齢、当事者の年齢の上昇が見られることから、前回、あるいは近藤らの調査対象者と比べて使用開始年齢の上昇、当事者と家族の関わる時間の減少、使用薬物の多様化等が背景にある可能性が考えられる。

3) 家族の相談の状況

最初に相談に行った機関として、前回は精神科病院（22.1%）ダルク（20.3%）精神保健福祉センター（17.3%）の順に多く、今回は精神科病院（15.8%）精神保健福祉センター（15.5%）警察（11.6%）ダルク（11.4%）であった。相談先がどこへ行けばいいかがはっきりしていない状況が続いていることを示している。とくに保護観察所経由で回答した家族については、精神保健福祉センターや精神科医療機関に初めてつながったと答えている家族が、それぞれ7.9%、8.6%と1割にも満たない

状況であり、初めての相談先として警察が16.4%と最も高かった。

相談機関の満足度については、全体では「とても満足」20.9%、「やや満足」31.6%であった。内訳では、精神保健福祉センター・医療機関経由、およびダルク・家族会経由の家族は、相談機関の対応に「とても満足」「やや満足」と答えている割合が、それぞれ23.8%・34.9%、23.6%・31.0%であり、保護観察所経由の15.8%・30.9%と比較して満足度が高かった。概して、相談に対する満足度は向上している印象があるものの、「とても不満」15.3%および「やや不満」21.3%と、合わせて36.6%の家族が相談に不満を持っていることも見逃してはいけない。

その対応については、「親身に相談に乗ってくれて、対応や治療について具体的に教えてくれた」39.0%、「話はある程度きいてくれたが、具体的な対応や治療について教えてくれなかった」38.5%と、ほぼ同数であった。

「相談につながった経験あり」と回答している家族は、薬物依存の家族会58.5%、ダルク・N A 48.3%、精神科医療機関43.9%、精神保健福祉センター35.0%、警察32.9%、保護司・保護観察官21.8%、保健所・保健センター18.6%、行政の市民相談9.0%などであった。

「相談が役に立った」と回答している家族が多いところから、薬物依存の家族会72.6%、ダルク・N A 68.3%、精神保健福祉センター37.1%、保護司・保護観察官26.6%、精神科医療機関21.7%、保健所・保健センター12.5%、警察7.2%などであった。

当事者を医療機関や相談機関につながれたか否かについては、保護観察所経由の家族は、「当事者は一度も行っていない」49.3%と高かった。

家族が相談につながってからの期間については、全体で1か月未満10.4%、3か月未満6.5%と合わせて16.9%であり、調査を行うに

あたって主対象に考えていた3か月未満の家族に対する困難さが明らかになった。結局1年以上が54.8%を占めた。その中でもダルク・家族会は1年以上が77.8%であった。

4) 相談の困難

相談することの困難を「いつも感じていた」と回答した家族は、全体で51.3%、保護観察所52.0%、精神保健福祉センター・医療機関49.2%、ダルク・家族会51.4%といずれも約半数になる。「時々感じていた」を合わせると、相談に困難を感じていた家族は、全体で72.4%、保護観察所69.8%、精神保健福祉センター・医療機関65.1%、ダルク・家族会76.4%であった。家族にとって相談することの困難が最大の問題であると言える。

相談が難しいと感じた原因については、全体で「薬物使用者を抱える後ろめたさ」57.7%、「薬物依存症や治療の情報不足」57.4%、「相談・治療機関の不足」50.6%、「通報や逮捕の心配」25.3%、「疲れ切って相談に行けない」15.2%、「費用の問題」14.9%などの順となった。

これらの原因の軽減を図れなければ、相談につながる家族は容易に増えないであろう。これらの課題の克服が薬物依存症対策には重要であると考えられる。

5) 家族の精神健康について

調査結果をもとに、家族の精神健康とコミュニケーションおよび家族の依存症の理解度の間の関係について分析した結果を図1に示す。精神健康はK6(うつや不安の程度を測る心理尺度)で測定し、家族の当事者に対するコミュニケーションや依存症に対する理解度は、森田が作成した「家族の理解と関わりに関する尺度」(表1)で評価した。

図1からわかることは、家族の精神健康と当事者へのコミュニケーションと依存症の理解の程度の間には、密接な関係があるということである。また、当然のことながらこれらと当事

者のもつ問題は相互に関係している。家族支援を行う場合には、家族と依存症者のそれぞれの状態とコミュニケーションを考慮して行う必要がある。以下にそれぞれの側面について詳しく論じる。

家族の精神健康

家族の精神健康について、K6という心理尺度で測定した結果を図2に示した。これによれば、アルコール依存症者の家族も薬物依存症者の家族も、4割以上の者が、精神健康が低下した状態であった。家族への働きかけを行う場合に、家族のメンタル面へのサポートは必須である。具体的には、家族のセルフサポートに焦点を当て、場合によっては、家族自身を精神的な問題の当事者として治療に導入することも含まれる。

図1に示したように、家族の精神健康には、当事者の暴力、経済的問題が関係しており、これらの背景要因への対応に取り組むことが重要である。配偶者や親など近親者への暴力が、アルコール・薬物依存症と重複して生じることが多いことは以前から指摘されている。例えば、清水⁴⁾によるアルコール依存症者の調査では、深酒していた時期には侮辱・ののしる73.0%、蹴る・げんこつで殴る33.6%に対して、断酒後では各々の行為は18.7%、2.2%であり、一般住民は23.1%、3.0%であったとしている。

家族という立場は、依存症者への支援者という面が強調されがちだが、暴力被害者という場合は単純に支援者役割を期待するよりも被害者支援に向ける方が適切な場合がある。いずれにしても背景に暴力を見逃さないようにすることが大事である。暴力などの被害によるトラウマを持つ場合には、傷つきやすく、援助を自分から求めることが難しい。また加害者に支配されて、反抗や逃げることもできない場合もある、そうした可能性を十分考慮した対応が必要であり、その点で安易に「共依存」等の言葉を用いるべきではない。被害を受けていることが

もし明確な場合、被害から逃げることやその相談を求める場所があえることを示す必要がある。しかし一方で、被害者という立場での支援よりもあくまで依存症家族としての支援を望む方も多いので、この場合は被害者支援という視点ももちながらまずは家族のニーズに応えていくことになる。

さらに浪費や就職困難な状態が続くことでの経済的問題は、家族にとって大きな負担になっている。依存症という診断そのものでは障害年金がでるケースは少なく、生活保護を除けば、依存症者への経済的支援制度はわが国では整っておらず、その分を家族が支え続けていることになる。少しでも家族の経済的な負担を軽減する制度を紹介したり、当事者の就労支援につながる道を一緒に考えたりしていくことが求められる。

家族のコミュニケーションの問題

家族の当事者への良い関わりと良くない関わりを図3に示した。アルコール依存症と薬物依存症のどちらの場合でも、家族の良い関わりができていない人の割合は、1割から2割程度低く、その一方で家族の良くない関わりをしている人の割合は、3割以上で6割を超える項目もある。特に「責めすぎてしまう」と「おびえてしまう」は50%を超えている。図1からわかる通り、家族のコミュニケーションの仕方は、その精神健康状態と関わっており、うつや不安が強い家族ほど、良くない関わり方が多く、良い関わりが少ないという傾向がみられた。さらに、暴力や経済的問題などの当事者の問題がある場合は、良い関係が少ない傾向がみられる。

以上から、家族の当事者に良い関わりをもてない場合には、家族自身が当事者の問題に遭遇して、精神的に参っていることが影響していると考えられる。つまり、精神的に余裕がないがゆえに、その不安や恐怖心をぶつけてしまったり、逆に当事者の要求に従ってしまったりしがちである。援助者が、家族の良くない対応を責

めると家族を追いつめるのみでなく、当事者への否定的な関わりを行う悪い見本になってしまう可能性がある。逆に援助者が、家族自身の気持ちを受け止める「安心の基地」として機能すれば、それが良い見本になり、家族が本人の気持ちを受け止めながら支援を勧める関わりモデルになる(図4)。当事者への関わり方について示す必要がある。具体的なポイントは以下の通りである。

- a. 本人自身がアルコール薬物問題をきっちり受け止められるように、家族は本人がギャンブル関連した問題を尻ぬぐいせず、無理な要求を断るなど過干渉な方法から手を引くこと
- b. 当事者自身の回復を家族として心から願っていることを肯定的に伝えること
- c. 飲酒や薬物をやめることを強く説得するのではなく、依存症という病気に対する治療に具体的な取り組みを勧めること(具体的な病院や自助グループのことを伝えることも含む)
- d. 回復への努力は本人自身が担うべきものであり、家族としてそうした本人の試行錯誤を伴う努力を落ち着いて見守る姿勢を持つこと

更に、近年わが国に紹介されているCRAFTのようなコミュニケーションスキルトレーニングのような方法で、関わり方を伝えることも有用であると思われる。心理教育プログラムを行うことで、「無理な要求を断れる」「落ち着いて話せる」「本人なりに人生をきりひらいていくことができる」と信じられるなどの本人への良い関わりを行う自信が向上することをアホカミ¹⁾している²⁾。

図4

また、2008年の調査データの分析によれば、家族のコミュニケーションを改善するのに断酒会や依存症の家族会の利用が非常に有用であった¹⁾。これらの会を使用している家族はそうでない家族よりも、当事者への良い関わりや

増え、良くない関わりが減っており、その傾向は家族会への参加機関が長い人ほど明確であった(図5)。支援者以上に、同様の立場にある家族同士の関わりが、家族のコミュニケーションを改善する効果を持つと考えられる。支援者は積極的に、家族を家族会や断酒会につなぐことが重要であろう。

依存症の理解と相談困難感

家族の精神健康とコミュニケーションの仕方に関わっていた要素として、注目されたのは、家族の依存症の理解と、相談困難感であった。この2つについて以下に述べる。

依存症について正しい理解をしていることは、家族のうつや不安の少なさ及び当事者への良い関わりと関係していた。その理由は、アルコール薬物依存症を病気として受け止めることで、当事者と家族が互いを責めたり、自分を責めたりすることから離れられるためであると考えられる。図6は、依存症の理解が、依存症当事者と家族の関係を良いものにすることを示したものである。依存症を病気として理解していない場合には、上図のように家族は当事者に対して、アルコールや薬物によるトラブルを減らそうと本人にその抑制を強いたり約束させたりしては、裏切られることを繰り返し、一方でその尻拭いをしてしまう。当事者は、結局は減らしたりやめられたりせずに嘘をつく結果となり、責められる中で自尊心の低下やストレスの蓄積を生じ、それが更に使用の継続につながってしまう。結局は依存症者と家族が争う形になるが、依存症の理解が進むと、依存症者と家族のどちらかに悪者が言うのではなく、依存症という病気が“共通の敵”へ対応する治療協力者になることができる。依存症の心理やその症状への対応について一緒に学び、またそれを支援してくれる相談や治療機関の利用を検討できることにつながる。

そこで重要になってくるのは、「相談困難感」である。図1にみるように、相談困難感を強く

感じている人は、精神健康度が低く、当事者とのコミュニケーションにおいても良くない関わりが多くなっている。相談できる気持ちを引出し、継続することが、家族の精神健康の回復や当事者との関係をよくする上でもとても重要であるといえる。

相談困難感を感じていると答えた人は、アルコール依存症者の家族、薬物依存症者の家族とも8割以上であった。そして、相談困難を感じている人に対して、その理由を尋ねたところ、アルコール依存症者の家族では、治療・回復の相談場所の情報の不足67.2%、相談機関や医療機関の不足29.7%、世間体や偏見44.1%、家族自身の疲労20.8%であった。薬物依存症者の家族では、薬物依存症やその治療についての情報の不足36.2%、薬物依存症の相談・治療の機関の不足30.1%、通報や逮捕への心配14.4%、世間体や偏見28.6%、相談や治療にかかる費用(相談費用・交通費など)を出すことの困難52.1%、家族自身の疲労50.8%であった。

これらを見ると、家族にとって、依存症の相談にくるということは、支援体制が非常に限られている上に、情理的にも感情的にも大きな壁があることがわかる。これらの壁があることで家族や当事者が社会的に孤立する状況に追いやることになる。依存症の相談や治療をうけることが、他の病気の治療を受けることと変わらないものになるように、支援者は依存症やその相談治療体制を整え、社会にそうしたメッセージを伝えていく必要があると思われる。

まとめ

本研究では、アルコール・薬物依存症者の家族の調査結果をもとに、その支援について論じた。特に重要なポイントを以下にまとめた。

- a. 家族に依存症やその回復に関して適切な知識を伝える。依存症が病気であることを示し、その治療や相談機関を使えること。
- b. 家族に当事者に対して、不適切な関わりを減らし、適切な関わりを増やす働きかけが重要

である。不適切な関わりをしている場合でも、家族を責めたり、共依存という言葉をやたらと使ったりせず、家族のつらさを受け止めて治療関係を作ることが重要である。その上で、コミュニケーションスキルを教えたり、家族会や断酒会などの家族グループにつないだりすることが重要である。

c. 家族自身が、精神健康が低下していることを念頭に置いて、精神的サポートを行う。セルフケアに焦点をあてるとともに、暴力や経済的問題などの背景要因の評価や支援を行う。

d. 家族が支援を求めることが難しいことを十分配慮して、情報提供や社会的なスティグマを減らすメッセージを伝えていくこと。

E. 研究発表

1. 論文発表

吉岡幸子, 新井清美, 森田展彰, 成瀬暢也: アルコール・薬物依存症の家族支援～全国家族調査の結果を踏まえて～. 日本アルコール関連問題学会雑誌(印刷中)

2. 学会発表

吉岡幸子: アルコール依存症家族の実態とニーズ. 第38回日本アルコール関連問題学会教育講演, 秋田, 2016.9.9

新井清美: 薬物依存症家族の実態とニーズ. 第38回日本アルコール関連問題学会教育講演, 秋田, 2016.9.9

森田展彰: 依存症家族の精神健康・コミュニケーション問題の実態とその支援. 第38回日本アルコール関連問題学会教育講演, 秋田, 2016.9.9

成瀬暢也: 依存症家族支援の基本的な考え方. 第38回日本アルコール関連問題学会教育講演, 秋田, 2016.9.9

成瀬暢也: 依存症臨床において断酒・断薬の強要は禁忌である. 再飲酒・再使用を責めてはいけない～その2～. 第38

回日本アルコール関連問題学会教育講演, 秋田, 2016.9.9

吉岡幸子, 他: アルコール依存症・薬物依存症家族の支援に関する全国調査 その1 アルコール依存症家族の背景と支援の必要性. 第38回日本アルコール関連問題学会教育講演, 秋田, 2016.9.9

新井清美, 他: アルコール依存症・薬物依存症家族の支援に関する全国調査 その2 薬物依存症家族の背景とニーズ. 第38回日本アルコール関連問題学会, 秋田, 2016.9.9

森田展彰, 他: アルコール依存症・薬物依存症家族の支援に関する全国調査 その3 家族の精神健康を中心とした分析. 第38回日本アルコール関連問題学会, 秋田, 2016.9.9

成瀬暢也, 他: アルコール依存症・薬物依存症家族の支援に関する全国調査 その4 刑の一部執行猶予制度に伴う家族支援. 第38回日本アルコール関連問題学会, 秋田, 2016.9.9

成瀬暢也: 薬物事犯者の家族の実態と支援のニーズに関する調査報告. 第12回日本司法精神医学会, 千葉, 2016.6.18

成瀬暢也: 受刑者の薬物事犯者の家族の実態と必要な支援に関する研究～全国の保護観察所家族会参加者の調査より～. 第112回日本精神神経学会学術総会, 千葉, 2016.6.2

吉岡幸子, 新井清美: アルコール依存症・薬物依存症家族支援に関する全国調査～その1～ アルコール依存症家族の相談機関別の特徴, 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会, 仙台, 2017.1.22

新井清美, 吉岡幸子: アルコール依存症・薬物依存症家族支援に関する全国調査～その2～ 薬物依存症家族の相談機関別の特徴, 第5回日本公衆衛生看護

護学会学術集会, 仙台, 2017.1.22

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

特になし

集計データ

	全体		保護観察所		センター、医療機関、その他		ダルクや家族会	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
質問 1.どの機関からアンケートを配布されましたか？								
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
精神保健福祉センター	24	5.6	-	-	24	38.1	-	-
保健所・保健センター	1	0.2	-	-	1	1.6	-	-
医療機関	25	5.8	-	-	25	39.7	-	-
ダルクや家族会	216	50.1	-	-	-	-	216	100.0
保護観察所	152	35.3	152	100.0	-	-	-	-
その他	13	3.0	-	-	13	20.6	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

質問 2.「あなた」はどちらにお住まいですか？

	全体		保護観察所		センター、医療機関、その他		ダルクや家族会	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
北海道	20	4.6	15	9.9	2	3.2	3	1.4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.5	1	0.7	1	1.6	-	-
宮城県	3	0.7	3	2.0	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.2	-	-	-	-	1	0.5
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	12	2.8	2	1.3	3	4.8	7	3.2
栃木県	10	2.3	2	1.3	2	3.2	6	2.8
群馬県	4	0.9	-	-	3	4.8	1	0.5
埼玉県	21	4.9	7	4.6	6	9.5	8	3.7
千葉県	35	8.1	11	7.2	2	3.2	22	10.2
東京都	81	18.8	24	15.8	9	14.3	48	22.2
神奈川県	45	10.4	3	2.0	10	15.9	32	14.8
新潟県	9	2.1	4	2.6	3	4.8	2	0.9
富山県	2	0.5	-	-	-	-	2	0.9
石川県	3	0.7	-	-	1	1.6	2	0.9

福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	11	2.6	2	1.3	-	-	9	4.2	-
長野県	6	1.4	5	3.3	1	1.6	-	-	-
岐阜県	8	1.9	5	3.3	-	-	3	1.4	-
静岡県	35	8.1	5	3.3	-	-	30	13.9	-
愛知県	9	2.1	4	2.6	1	1.6	4	1.9	-
三重県	3	0.7	1	0.7	-	-	2	0.9	-
滋賀県	5	1.2	5	3.3	-	-	-	-	-
京都府	12	2.8	1	0.7	-	-	11	5.1	-
大阪府	17	3.9	2	1.3	4	6.3	11	5.1	-
兵庫県	14	3.2	7	4.6	4	6.3	3	1.4	-
奈良県	9	2.1	7	4.6	-	-	2	0.9	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.2	1	0.7	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	5	1.2	5	3.3	-	-	-	-	-
広島県	2	0.5	-	-	2	3.2	-	-	-
山口県	1	0.2	1	0.7	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.5	1	0.7	1	1.6	-	-	-
愛媛県	4	0.9	4	2.6	-	-	-	-	-
高知県	2	0.5	1	0.7	1	1.6	-	-	-
福岡県	10	2.3	6	3.9	3	4.8	1	0.5	-
佐賀県	6	1.4	3	2.0	3	4.8	-	-	-
長崎県	1	0.2	-	-	-	-	1	0.5	-
熊本県	7	1.6	5	3.3	1	1.6	1	0.5	-
大分県	3	0.7	2	1.3	-	-	1	0.5	-
宮崎県	2	0.5	2	1.3	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.2	1	0.7	-	-	-	-	-
沖縄県	4	0.9	1	0.7	-	-	3	1.4	-
無回答	3	0.7	3	2.0	-	-	-	-	-

質問3.「あなた」の性別

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
男性	125	29.0	49	32.2	16	25.4	60	27.8

女性	304	70.5	102	67.1	46	73.0	156	72.2
無回答	2	0.5	1	0.7	1	1.6	-	-

質問4.「当事者」の性別

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
男性	356	82.6	128	84.2	55	87.3	173	80.1
女性	72	16.7	23	15.1	7	11.1	42	19.4
無回答	3	0.7	1	0.7	1	1.6	1	0.5

質問5.「当事者」との関係

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
親	334	77.5	111	73.0	43	68.3	180	83.3
配偶者	22	5.1	11	7.2	6	9.5	5	2.3
子ども	33	7.7	10	6.6	7	11.1	16	7.4
兄弟姉妹	15	3.5	7	4.6	2	3.2	6	2.8
その他	20	4.6	9	5.9	4	6.3	7	3.2
無回答	7	1.6	4	2.6	1	1.6	2	0.9

質問6.「あなた」の同居家族 【複数回答】

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
同居家族なし	60	13.9	26	17.1	6	9.5	28	13.0
配偶者・パートナー	281	65.2	85	55.9	37	58.7	159	73.6
母親	57	13.2	24	15.8	11	17.5	22	10.2
父親	27	6.3	15	9.9	4	6.3	8	3.7
子ども	163	37.8	49	32.2	35	55.6	79	36.6
その他	45	10.4	20	13.2	6	9.5	19	8.8
無回答	8	1.9	4	2.6	1	1.6	3	1.4

質問7.「当事者」の現在の居住地は？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
同居中	78	18.1	19	12.5	25	39.7	34	15.7
別世帯の住居	79	18.3	5	3.3	11	17.5	63	29.2
刑務所	168	39.0	115	75.7	14	22.2	39	18.1
精神科病院	8	1.9	-	-	3	4.8	5	2.3

ダルク	61	14.2	3	2.0	3	4.8	55	25.5
保護観察所	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	31	7.2	7	4.6	6	9.5	18	8.3
無回答	6	1.4	3	2.0	1	1.6	2	0.9

質問8.「当事者」が主に用いている(いた)薬物は何ですか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
覚醒剤	273	63.3	128	84.2	39	61.9	106	49.1
危険ドラッグ	37	8.6	5	3.3	3	4.8	29	13.4
大麻・マリファナ	23	5.3	7	4.6	3	4.8	13	6.0
シンナー	7	1.6	-	-	-	-	7	3.2
ガス	6	1.4	-	-	1	1.6	5	2.3
咳止め	6	1.4	-	-	1	1.6	5	2.3
精神安定剤・睡眠薬	20	4.6	-	-	6	9.5	14	6.5
鎮痛剤(痛み止め)	-	-	-	-	-	-	-	-
アルコール	7	1.6	-	-	1	1.6	6	2.8
ヘロイン	-	-	-	-	-	-	-	-
コカイン	-	-	-	-	-	-	-	-
LSDなどの幻覚剤	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	0.2	-	-	1	1.6	-	-
無回答	51	11.8	12	7.9	8	12.7	31	14.4

質問9.「当事者」が一度でも用いたことがある(と思う)薬物は何ですか？【複数回答】

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
覚醒剤	322	74.7	137	90.1	45	71.4	140	64.8
危険ドラッグ	98	22.7	18	11.8	16	25.4	64	29.6
大麻・マリファナ	122	28.3	19	12.5	16	25.4	87	40.3
シンナー	114	26.5	37	24.3	16	25.4	61	28.2
ガス	37	8.6	3	2.0	5	7.9	29	13.4
咳止め	29	6.7	2	1.3	7	11.1	20	9.3
精神安定剤・睡眠薬	148	34.3	39	25.7	24	38.1	85	39.4
鎮痛剤(痛み止め)	63	14.6	19	12.5	11	17.4	33	15.3
アルコール	86	20.0	20	13.2	10	15.9	56	25.9
ヘロイン	5	1.2	-	-	-	-	5	2.3

コカイン	14	3.2	3	2.0	2	3.2	9	4.2
LSDなどの幻覚剤	27	6.3	3	2.0	2	3.2	22	10.2
その他	2	0.5	-	-	1	1.6	1	0.5
無回答	10	2.3	5	3.3	2	3.2	3	1.4

質問 10. 現在、「当事者」はどのように生活費を得ていますか？ 【複数回答】

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
家族の援助	137	31.8	29	19.1	24	38.1	84	38.9
自分の収入	122	28.3	21	13.8	21	33.3	80	37.0
生活保護	55	12.8	5	3.3	5	7.9	45	20.8
年金	12	2.8	2	1.3	2	3.2	8	3.7
刑務所	159	36.9	109	71.7	14	22.2	36	16.7
その他	17	3.9	3	2.0	5	7.9	9	4.2
無回答	8	1.9	3	2.0	1	1.6	4	1.9

質問 11. 「当事者」は司法機関との関わりがありますか？ 【複数回答】

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
逮捕	193	44.8	59	38.8	30	47.6	104	48.1
刑務所への服役	220	51.0	123	80.9	21	33.3	76	35.2
保護観察	108	25.1	36	23.7	20	31.7	52	24.1
刑務所や保護観察所での薬物乱用防止プログラムへの参加	41	9.5	20	13.2	5	7.9	16	7.4
なし	107	24.8	7	4.6	20	31.7	80	37.0
無回答	12	2.8	5	3.3	3	4.8	4	1.9

質問 12. 現在、「当事者」は以下の援助機関とつながっていますか？ 【複数回答】

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
医療機関	89	20.6	12	7.9	26	41.3	51	23.6
ダルク	116	26.9	15	9.9	6	9.5	95	44.0
NA など自助グループ	73	16.9	5	3.3	7	11.1	61	28.2
福祉事務所	25	5.8	1	0.7	5	7.9	19	8.8
その他	42	9.7	18	11.8	7	11.1	17	7.9
不明	106	24.6	57	37.5	10	15.9	39	18.1
無回答	99	23.0	48	31.6	17	27.0	34	15.7

質問 13. 現在、「当事者」は薬物を使用していると思いますか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
やめられている	163	37.8	40	26.3	23	36.5	100	46.3
時々使用	29	6.7	-	-	6	9.5	23	10.6
頻回に使用	12	2.8	-	-	4	6.3	8	3.7
使用できない状態（入院、服役など）	170	39.4	103	67.8	21	33.3	46	21.3
不明	44	10.2	2	1.3	6	9.5	36	16.7
無回答	13	3.0	7	4.6	3	4.8	3	1.4

質問 15. 「当事者」に薬物乱用や薬物依存の問題があると感じるようになったきっかけ【複数回答】

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
薬物やその道具や使用をみたため	172	39.9	41	27.0	23	36.5	108	50.0
薬物による精神症状をみたため	226	52.4	64	42.1	34	54.0	128	59.3
警察のお世話になるトラブルがあったため	208	48.3	90	59.2	28	44.4	90	41.7
医療機関や保健機関や市町村からの情報提供、広報などによる	22	5.1	1	0.7	5	7.9	16	7.4
ダルクやN A や家族会からの情報による	29	6.7	2	1.3	3	4.8	24	11.1
インターネットやテレビなどの情報による	22	5.1	1	0.7	4	6.3	17	7.9
学校で教えてもらった知識による	1	0.2	-	-	-	-	1	0.5
その他	49	11.4	14	9.2	12	19.0	23	10.6
無回答	22	5.1	10	6.6	2	3.2	10	4.6

質問 16. 「あなた」が、薬物問題のことで初めて相談に行かれたのはどこですか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
保健所・保健センター	32	7.4	7	4.6	-	-	25	11.6
精神保健福祉センター	67	15.5	12	7.9	16	25.4	39	18.1
精神科	68	15.8	13	8.6	17	27.0	38	17.6
ダルク	49	11.4	5	3.3	5	7.9	39	18.1
家族会や支援団体	35	8.1	7	4.6	5	7.9	23	10.6
警察	50	11.6	25	16.4	7	11.1	18	8.3
弁護士	16	3.7	11	7.2	2	3.2	3	1.4
保護観察所	17	3.9	13	8.6	1	1.6	3	1.4
保護司	14	3.2	11	7.2	1	1.6	2	0.9
その他	24	5.6	16	10.5	3	4.8	5	2.3
無回答	59	13.7	32	21.1	6	9.5	21	9.7

質問 18. 相談機関の対応は満足の得られるものでしたか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
とても満足	90	20.9	24	15.8	15	23.8	51	23.6
やや満足	136	31.6	47	30.9	22	34.9	67	31.0
やや不満	92	21.3	26	17.1	16	25.4	50	23.1
とても不満	66	15.3	17	11.2	6	9.5	43	19.9
無回答	47	10.9	38	25.0	4	6.3	5	2.3
加重平均値	2.35		2.32		2.22		2.40	
標準偏差	1.02		0.97		0.95		1.07	

質問 19. 相談機関の対応はどのようなものでしたか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
親身に相談に乗ってくれて、対応や治療について具体的に教えてくれた	168	39.0	49	32.2	24	38.1	95	44.0
話はある程度きいてくれたが、具体的な対応や治療はあまり教えてくれなかった	166	38.5	40	26.3	28	44.4	98	45.4
少ししか話をきいてくれなかった	29	6.7	13	8.6	4	6.3	12	5.6
まったく話をきいてくれず、追い返された	4	0.9	2	1.3	-	-	2	0.9
無回答	64	14.8	48	31.6	7	11.1	9	4.2

質問 20. 相談経験：1. 保健所・保健センター

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
なし	225	52.2	88	57.9	31	49.2	106	49.1
あり	80	18.6	11	7.2	8	12.7	61	28.2
無回答	126	29.2	53	34.9	24	38.1	49	22.7

質問 20. 相談経験：2. 精神保健福祉センター

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
なし	173	40.1	78	51.3	14	22.2	81	37.5
あり	151	35.0	23	15.1	34	54.0	94	43.5
無回答	107	24.8	51	33.6	15	23.8	41	19.0

質問 20. 相談経験：3. 精神科

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100

		.0		.0		.0		.0
なし	142	32.9	69	45.4	12	19.0	61	28.2
あり	189	43.9	33	21.7	37	58.7	119	55.1
無回答	100	23.2	50	32.9	14	22.2	36	16.7

質問 20. 相談経験：4. 薬物依存の家族会

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
なし	96	22.3	65	42.8	11	17.5	20	9.3
あり	252	58.5	37	24.3	35	55.6	180	83.3
無回答	83	19.3	50	32.9	17	27.0	16	7.4

質問 20. 相談経験：5. 当事者の自助グループ（ダルク、NAなど）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
なし	125	29.0	74	48.7	11	17.5	40	18.5
あり	208	48.3	30	19.7	35	55.6	143	66.2
無回答	98	22.7	48	31.6	17	27.0	33	15.3

質問 20. 相談経験：6. 民間の相談機関

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
なし	242	56.1	94	61.8	32	50.8	116	53.7
あり	56	13.0	5	3.3	5	7.9	46	21.3
無回答	133	30.9	53	34.9	26	41.3	54	25.0

質問 20. 相談経験：7. 警察

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
なし	180	41.8	73	48.0	25	39.7	82	38.0
あり	138	32.0	34	22.4	15	23.8	89	41.2
無回答	113	26.2	45	29.6	23	36.5	45	20.8

質問 20. 相談経験：8. 保護司・保護監察官

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
なし	217	50.3	60	39.5	29	46.0	128	59.3

あり	94	21.8	56	36.8	12	19.0	26	12.0
無回答	120	27.8	36	23.7	22	34.9	62	28.7

質問 20. 相談経験：9. 行政の市民相談

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
なし	256	59.4	90	59.2	35	55.6	131	60.6
あり	39	9.0	6	3.9	6	9.5	27	12.5
無回答	136	31.6	56	36.8	22	34.9	58	26.9

質問 20. 相談経験：10. 更生施設

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	50	100.0	-	-	48	100.0	2	100.0
なし	29	58.0	-	-	27	56.3	2	100.0
あり	3	6.0	-	-	3	6.3	-	-
無回答	18	36.0	-	-	18	37.5	-	-

質問 20. 役立ちましたか：1. 保健所・保健センター

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	80	100.0	11	100.0	8	100.0	61	100.0
役立った	10	12.5	2	18.2	-	-	8	13.1
少し役立った	23	28.8	4	36.4	3	37.5	16	26.2
あまり役立たなかった	25	31.3	4	36.4	3	37.5	18	29.5
役立たなかった	21	26.3	1	9.1	2	25.0	18	29.5
無回答	1	1.3	-	-	-	-	1	1.6
加重平均値	2.7		2.3		2.8		2.7	
標準偏差	2.0		0.9		0.8		1.0	

質問 20. 役立ちましたか：2. 精神保健福祉センター

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	151	100.0	23	100.0	34	100.0	94	100.0
役立った	56	37.1	13	56.5	10	29.4	33	35.1
少し役立った	64	42.4	8	34.8	17	50.0	39	41.5
あまり役立たなかった	19	12.6	2	8.7	5	14.7	12	12.8
役立たなかった	11	7.3	-	-	1	2.9	10	10.6
無回答	1	0.7	-	-	1	2.9	-	-

加重平均値	1.9 0	1.5 2	1.9 1	1.9 9
標準偏差	0.8 9	0.6 7	0.7 7	0.9 6

質問 20. 役立ちましたか：3. 精神科

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	189	100	33	100	37	100	119	100
		.0		.0		.0		.0
役立った	41	21.7	8	24.2	11	29.7	22	18.5
少し役立った	47	24.9	5	15.2	8	21.6	34	28.6
あまり役立たなかった	53	28.0	10	30.3	10	27.0	33	27.7
役立たなかった	42	22.2	9	27.3	6	16.2	27	22.7
		2		3		2		7
無回答	6	3.2	1	3.0	2	5.4	3	2.5
加重平均値	2.5 2		2.6 3		2.3 1		2.5 6	
標準偏差	1.0 8		1.1 6		1.1 1		1.0 5	

質問 20. 役立ちましたか：4. 薬物依存の家族会や医療スタッフ

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	252	100	37	100	35	100	180	100
		.0		.0		.0		.0
役立った	183	72.6	19	51.4	15	42.9	149	82.8
少し役立った	57	22.6	16	43.2	16	45.7	25	13.9
あまり役立たなかった	6	2.4	1	2.7	2	5.7	3	1.7
役立たなかった	3	1.2	1	2.7	-	-	2	1.1
無回答	3	1.2	-	-	2	5.7	1	0.6
加重平均値	1.3 1		1.5 7		1.6 1		1.2 1	
標準偏差	0.5 8		0.6 9		0.6 1		0.5 2	

質問 20. 役立ちましたか：5. 当事者の自助グループ（ダルク、NAなど）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	208	100	30	100	35	100	143	100
		.0		.0		.0		.0
役立った	142	68.3	15	50.0	17	48.6	110	76.9
少し役立った	42	20.2	11	36.7	12	34.3	19	13.3
あまり役立たなかった	16	7.7	4	13.3	3	8.6	9	6.3
役立たなかった	4	1.9	-	-	1	2.9	3	2.1
無回答	4	1.9	-	-	2	5.7	2	1.4
加重平均値	1.4 2		1.6 3		1.6 4		1.3 3	
標準偏差	0.7 2		0.7 2		0.7 8		0.6 9	

質問 20. 役立ちましたか：6. 民間の相談機関

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	56	100.0	5	100.0	5	100.0	46	100.0
役立った	21	37.5	2	40.0	3	60.0	16	34.8
少し役立った	13	23.2	1	20.0	-	-	12	26.1
あまり役立たなかった	10	17.9	-	-	1	20.0	9	19.6
役立たなかった	10	17.9	1	20.0	-	-	9	19.6
無回答	2	3.6	1	20.0	1	20.0	-	-
加重平均値	2.17		2.00		1.50		2.24	
標準偏差	1.15		1.41		1.00		1.14	

質問 20. 役立ちましたか：7. 警察

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	138	100.0	34	100.0	15	100.0	89	100.0
役立った	10	7.2	3	8.8	-	-	7	7.9
少し役立った	30	21.7	8	23.5	2	13.3	20	22.5
あまり役立たなかった	46	33.3	8	23.5	9	60.0	29	32.6
役立たなかった	46	33.3	11	32.4	3	20.0	32	36.0
無回答	6	4.3	4	11.8	1	6.7	1	1.1
加重平均値	2.97		2.90		3.07		2.98	
標準偏差	0.94		1.03		0.62		0.96	

質問 20. 役立ちましたか：8. 保護司・保護監察官

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	94	100.0	56	100.0	12	100.0	26	100.0
役立った	25	26.6	21	37.5	2	16.7	2	7.7
少し役立った	28	29.8	16	28.6	6	50.0	6	23.1
あまり役立たなかった	20	21.3	12	21.4	-	-	8	30.8
役立たなかった	14	14.9	2	3.6	3	25.0	9	34.6
無回答	7	7.4	5	8.9	1	8.3	1	3.8
加重平均値	2.26		1.90		2.30		2.96	
標準偏差	1.05		0.90		1.12		0.98	

質問 20. 役立ちましたか：9. 行政の市民相談

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	39	100.0	6	100.0	6	100.0	27	100.0

役立った	7	17.9	2	33.3	3	50.0	2	7.4
少し役立った	6	15.4	2	33.3	-	-	4	14.8
あまり役立たなかった	13	33.3	1	16.7	2	33.3	10	37.0
役立たなかった	11	28.2	-	-	-	-	11	40.7
無回答	2	5.1	1	16.7	1	16.7	-	-
加重平均値	2.7		1.8		1.8		3.1	
標準偏差	1.0		0.8		1.1		0.9	
	9		4		0		3	

質問 20. 役立ちましたか：10. 更生施設

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	3	100.0	-	-	3	100.0	-	-
役立った	2	66.7	-	-	2	66.7	-	-
少し役立った	-	-	-	-	-	-	-	-
あまり役立たなかった	1	33.3	-	-	1	33.3	-	-
役立たなかった	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
加重平均値	1.6		-	-	1.6		-	-
標準偏差	1.1		-	-	1.1		-	-
	5		-	-	5		-	-

質問 21. 「当事者」を医療機関や相談機関につなげられましたか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
「当事者」は医療機関や相談機関に一度も行ってない	127	29.5	75	49.3	14	22.2	38	17.6
「当事者」は医療機関や相談機関に行ったことはあるが、継続して利用したことはない	85	19.7	29	19.1	13	20.6	43	19.9
「当事者」は医療機関や相談機関をある程度継続したが、安定しては続いている	78	18.1	19	12.5	11	17.4	48	22.2
「当事者」は医療機関や相談機関を継続的に利用できている	107	24.8	8	5.3	19	30.2	80	37.0
無回答	34	7.9	21	13.8	6	9.5	7	3.2

質問 22. 「当事者」の薬物に関する考えや行動について、もっともあてはまると思われる項目

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
薬物使用を止める（減らす）必要はないと思っている	21	4.9	4	2.6	3	4.8	14	6.5
薬物使用を止める（減らす）必要は感じているが、それを実行する気はない	35	8.1	6	3.9	6	9.5	23	10.6
薬物使用を止める（減らす）必要を感じ、その計画もあるが、実行できていない	88	20.4	45	29.6	15	23.8	28	13.0
薬物使用を止める（減らす）ための努力を実際に行っているが短期しか（半年未満）続かない	59	13.7	23	15.1	14	22.2	22	10.2
薬物使用を止める（減らす）ための努力を長期的に（半年以上）続けている	190	44.1	50	32.9	21	33.3	119	55.4

無回答	38	8.8	24	15.8	4	6.3	10	4.6
-----	----	-----	----	------	---	-----	----	-----

質問 23. 「あなた」が薬物問題の医療機関や相談機関に継続してつながるようになってどのくらいですか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1か月未満	45	10.4	25	16.4	13	20.6	7	3.2
3か月未満	28	6.5	7	4.6	12	19.0	9	4.2
6か月未満	28	6.5	8	5.3	10	15.9	10	4.6
1年未満	35	8.1	20	13.2	3	4.8	12	5.6
1年以上	236	54.8	47	30.9	21	33.3	168	77.8
無回答	59	13.7	45	29.6	4	6.3	10	4.6

質問 24. 「あなた」は、薬物問題について相談することが難しいと感じた経験はありましたか？

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
いつも感じていた	221	51.3	79	52.0	31	49.2	111	51.4
時々感じていた	91	21.1	27	17.8	10	15.9	54	25.0
あまり感じなかった	24	5.6	5	3.3	10	15.9	9	4.2
感じたことはなかった	57	13.2	16	10.5	8	12.7	33	15.3
無回答	38	8.8	25	16.4	4	6.3	9	4.2

質問 25. 薬物問題を相談するのが難しいと感じた原因は何ですか？【複数回答】

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	336	100.0	111	100.0	51	100.0	174	100.0
薬物依存症やその治療についての情報が不足しているため	193	57.4	52	46.8	34	66.7	107	61.5
薬物依存症の相談・治療の機関が不足しているため	170	50.6	40	36.0	24	47.1	106	60.9
相談すると、通報や逮捕が心配であるため	85	25.3	26	23.4	13	25.5	46	26.4
身内に薬物使用者を抱えていることによる後ろめたさや世間の偏見を感じるため	194	57.7	52	46.8	31	60.8	111	63.8
相談や治療にかかる費用（相談費用・交通費など）を出すのが難しいため	50	14.9	18	16.2	5	9.8	27	15.5
家族自身が疲れきってしまい、相談をしようという気持ちになれないため	51	15.2	13	11.7	9	17.6	29	16.7
その他	19	5.7	9	8.1	4	7.8	6	3.4
無回答	18	5.4	9	8.1	3	5.9	6	3.4

質問 26. 利用状況：1. 家族グループや家族教室（精神保健福祉センター・保健所などの公的機関）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在参加	78	18.1	25	16.4	19	30.2	34	15.7

		1		4		2		7
以前の参加のみ	58	13.5	11	7.2	7	11.1	40	18.5
参加なし	101	23.4	48	31.6	15	23.8	38	17.6
無回答	194	45.0	68	44.7	22	34.9	104	48.1

質問 26. 利用状況：2. 家族グループ[®] や家族教室（医療機関・カウンセリング 機関）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在参加	52	12.1	4	2.6	15	23.8	33	15.3
以前の参加のみ	48	11.1	8	5.3	3	4.8	37	17.1
参加なし	113	26.2	55	36.2	15	23.8	43	19.9
無回答	218	50.6	85	55.9	30	47.6	103	47.7

質問 26. 利用状況：3. ダルクの家族会・フォーラム

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在参加	174	40.4	14	9.2	8	12.7	152	70.4
以前の参加のみ	26	6.0	8	5.3	10	15.9	8	3.7
参加なし	79	18.3	51	33.6	15	23.8	13	6.0
無回答	152	35.3	79	52.0	30	47.6	43	19.9

質問 26. 利用状況：4. 自助グループ（ナラノン、アラノンなど）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在参加	63	14.6	9	5.9	10	15.9	44	20.4
以前の参加のみ	33	7.7	2	1.3	3	4.8	28	13.0
参加なし	113	26.2	54	35.5	17	27.0	42	19.4
無回答	222	51.5	87	57.2	33	52.4	102	47.2

質問 26. 利用状況：5. 家族グループ[®] や家族教室（刑事司法機関で行うもの）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	381	100.0	152	100.0	15	100.0	214	100.0
現在参加	32	8.4	20	13.2	2	13.3	10	4.7
以前の参加のみ	18	4.7	7	4.6	-	-	11	5.1
参加なし	128	33.6	47	30.9	3	20.0	78	36.4
無回答	204	53.5	79	52.0	10	66.7	115	53.7

質問 27. 幸福感 : 1. 家事や身の回りのこと

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
1 完全に不幸 (不満足)	22	5.1	5	3.3	7	11.1	10	4.6
2	14	3.2	6	3.9	4	6.3	4	1.9
3	22	5.1	10	6.6	4	6.3	8	3.7
4	15	3.5	3	2.0	4	6.3	8	3.7
5	45	10.4	14	9.2	11	17.4	20	9.3
6	59	13.7	19	12.5	8	12.7	32	14.8
7	32	7.4	10	6.6	2	3.2	20	9.3
8	72	16.7	9	5.9	10	15.9	53	24.5
9	38	8.8	12	7.9	1	1.6	25	11.6
10 完全に幸福 (満足)	30	7.0	11	7.2	2	3.2	17	7.9
無回答	82	19.0	53	34.9	10	15.9	19	8.8
平均値	6.30		6.09		5.08		6.73	
標準偏差	2.51		2.61		2.56		2.33	

質問 27. 幸福感 : 2. 仕事や学業

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
1 完全に不幸 (不満足)	35	8.1	13	8.6	8	12.7	14	6.5
2	14	3.2	4	2.6	5	7.9	5	2.3
3	31	7.2	8	5.3	5	7.9	18	8.3
4	15	3.5	3	2.0	5	7.9	7	3.2
5	44	10.2	16	10.5	8	12.7	20	9.3
6	45	10.4	18	11.8	6	9.5	21	9.7
7	37	8.6	12	7.9	3	4.8	22	10.2
8	61	14.2	11	7.2	4	6.3	46	21.3
9	33	7.7	6	3.9	5	7.9	22	10.2
10 完全に幸福 (満足)	25	5.8	8	5.3	1	1.6	16	7.4
無回答	91	21.1	53	34.9	13	20.6	25	11.6
平均値	5.88		5.57		4.74		6.35	
標準偏差	2.69		2.69		2.69		2.59	

質問 27. 幸福感 : 3. 社会的な活動

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0

1 完全に不幸（不満足）	39	9.0	12	7.9	10	15.9	17	7.9
2	14	3.2	6	3.9	2	3.2	6	2.8
3	38	8.8	11	7.2	7	11.1	20	9.3
4	19	4.4	4	2.6	3	4.8	12	5.6
5	65	15.1	25	16.4	9	14.3	31	14.4
6	38	8.8	10	6.6	6	9.5	22	10.2
7	33	7.7	8	5.3	1	1.6	24	11.1
8	37	8.6	8	5.3	2	3.2	27	12.5
9	27	6.3	4	2.6	4	6.3	19	8.8
10 完全に幸福（満足）	25	5.8	7	4.6	1	1.6	17	7.9
無回答	96	22.3	57	37.5	18	28.6	21	9.7
平均値	5.46		5.09		4.38		5.89	
標準偏差	2.69		2.62		2.65		2.64	

質問 27. 幸福感：4. お金、経済状態

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	46	10.7	17	11.2	11	17.5	18	8.3
2	26	6.0	13	8.6	5	7.9	8	3.7
3	33	7.7	7	4.6	7	11.1	19	8.8
4	22	5.1	7	4.6	2	3.2	13	6.0
5	53	12.3	17	11.2	8	12.7	28	13.0
6	48	11.1	11	7.2	6	9.5	31	14.4
7	38	8.8	11	7.2	5	7.9	22	10.2
8	49	11.4	14	9.2	6	9.5	29	13.4
9	27	6.3	3	2.0	-	-	24	11.1
10 完全に幸福（満足）	17	3.9	6	3.9	4	6.3	7	3.2
無回答	72	16.7	46	30.3	9	14.3	17	7.9
平均値	5.32		4.90		4.61		5.73	
標準偏差	2.69		2.76		2.82		2.54	

質問 27. 幸福感：5. コミュニケーション、人づきあい

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	14	3.2	3	2.0	4	6.3	7	3.2
2	23	5.3	10	6.6	5	7.9	8	3.7
3	20	4.6	4	2.6	7	11.1	9	4.2
4	25	5.8	6	3.9	5	7.9	14	6.5

5	54	12.5	22	14.5	10	15.9	22	10.2
6	56	13.0	16	10.5	8	12.7	32	14.8
7	34	7.9	7	4.6	3	4.8	24	11.1
8	53	12.3	12	7.9	5	7.9	36	16.7
9	52	12.1	9	5.9	4	6.3	39	18.1
10 完全に幸福（満足）	17	3.9	11	7.2	-	-	6	2.8
無回答	83	19.3	52	34.2	12	19.0	19	8.8
平均値	6.1		6.0		4.9		6.4	
標準偏差	1.1		1.1		0.3		0.7	
	2.4		2.5		2.3		2.3	
	2		2		3		0	

質問 27. 幸福感：6. あなたの感情（気持ち）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	28	6.5	9	5.9	11	17.5	8	3.7
2	14	3.2	7	4.6	1	1.6	6	2.8
3	43	10.0	15	9.9	13	20.6	15	6.9
4	23	5.3	8	5.3	3	4.8	12	5.6
5	58	13.5	15	9.9	12	19.0	31	14.4
6	46	10.7	14	9.2	6	9.5	26	12.0
7	33	7.7	11	7.2	2	3.2	20	9.3
8	58	13.5	11	7.2	2	3.2	45	20.8
9	41	9.5	9	5.9	3	4.8	29	13.4
10 完全に幸福（満足）	13	3.0	5	3.3	2	3.2	6	2.8
無回答	74	17.2	48	31.6	8	12.7	18	8.3
平均値	5.7		5.3		4.3		6.2	
標準偏差	1.1		1.4		1.1		0.9	
	2.5		2.5		2.5		2.3	
	3		9		2		1	

質問 27. 幸福感：7. 周りからの感情的な支援

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	26	6.0	8	5.3	6	9.5	12	5.6
2	13	3.0	4	2.6	3	4.8	6	2.8
3	16	3.7	6	3.9	4	6.3	6	2.8
4	20	4.6	4	2.6	6	9.5	10	4.6
5	65	15.1	26	17.1	11	17.5	28	13.0
6	55	12.8	16	10.5	5	7.9	34	15.7
7	39	9.0	14	9.2	3	4.8	22	10.2

8	52	12.1	7	4.6	7	11.1	38	17.6
9	35	8.1	8	5.3	3	4.8	24	11.1
10 完全に幸福（満足）	23	5.3	6	3.9	4	6.3	13	6.0
無回答	87	20.2	53	34.9	11	17.5	23	10.6
平均値	6.0		5.6		5.3		6.3	
標準偏差	1		8		3		7	
	2.4		2.3		2.6		2.3	
	6		9		8		8	

質問 27. 幸福感：8. 自分の時間が持てること

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	14	3.2	5	3.3	4	6.3	5	2.3
2	10	2.3	6	3.9	3	4.8	1	0.5
3	16	3.7	6	3.9	7	11.1	3	1.4
4	21	4.9	5	3.3	5	7.9	11	5.1
5	57	13.2	20	13.2	8	12.7	29	13.4
6	39	9.0	9	5.9	7	11.1	23	10.6
7	41	9.5	12	7.9	5	7.9	24	11.1
8	56	13.0	10	6.6	6	9.5	40	18.5
9	50	11.6	15	9.9	6	9.5	29	13.4
10 完全に幸福（満足）	53	12.3	14	9.2	2	3.2	37	17.1
無回答	74	17.2	50	32.9	10	15.9	14	6.5
平均値	6.7		6.3		5.4		7.2	
標準偏差	2		5		7		4	
	2.4		2.6		2.5		2.2	
	7		6		5		0	

質問 27. 幸福感：9. 娯楽や活動

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	18	4.2	6	3.9	5	7.9	7	3.2
2	16	3.7	7	4.6	4	6.3	5	2.3
3	23	5.3	9	5.9	5	7.9	9	4.2
4	22	5.1	7	4.6	2	3.2	13	6.0
5	53	12.3	20	13.2	12	19.0	21	9.7
6	41	9.5	7	4.6	6	9.5	28	13.0
7	37	8.6	8	5.3	6	9.5	23	10.6
8	51	11.8	14	9.2	4	6.3	33	15.3
9	49	11.4	12	7.9	5	7.9	32	14.8
10 完全に幸福（満足）	40	9.3	9	5.9	1	1.6	30	13.9

無回答	81	18.8	53	34.9	13	20.6	15	6.9
平均値	6.3		5.8		5.2		6.8	
標準偏差	2.5		2.6		2.5		2.4	
	8		8		0		3	

質問 27. 幸福感：10. あなた自身のからだの健康

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	23	5.3	11	7.2	3	4.8	9	4.2
2	13	3.0	7	4.6	1	1.6	5	2.3
3	30	7.0	9	5.9	8	12.7	13	6.0
4	23	5.3	4	2.6	4	6.3	15	6.9
5	53	12.3	24	15.8	10	15.9	19	8.8
6	50	11.6	13	8.6	7	11.1	30	13.9
7	38	8.8	10	6.6	7	11.1	21	9.7
8	56	13.0	8	5.3	7	11.1	41	19.0
9	46	10.7	9	5.9	5	7.9	32	14.8
10 完全に幸福（満足）	26	6.0	9	5.9	2	3.2	15	6.9
無回答	73	16.9	48	31.6	9	14.3	16	7.4
平均値	6.1		5.4		5.6		6.5	
標準偏差	2.5		2.6		2.3		2.4	
	3		9		6		1	

質問 27. 幸福感：11. 家族関係

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
1 完全に不幸（不満足）	26	6.0	8	5.3	9	14.3	9	4.2
2	12	2.8	4	2.6	3	4.8	5	2.3
3	21	4.9	4	2.6	7	11.1	10	4.6
4	25	5.8	7	4.6	5	7.9	13	6.0
5	51	11.8	16	10.5	9	14.3	26	12.0
6	37	8.6	10	6.6	4	6.3	23	10.6
7	35	8.1	6	3.9	6	9.5	23	10.6
8	54	12.5	14	9.2	6	9.5	34	15.7
9	60	13.9	17	11.2	4	6.3	39	18.1
10 完全に幸福（満足）	36	8.4	16	10.5	1	1.6	19	8.8
無回答	74	17.2	50	32.9	9	14.3	15	6.9
平均値	6.3		6.5		4.8		6.6	
標準偏差	2.6		2.8		2.6		2.4	

5 0 5 4

質問 27. 幸福感：12. 全体的な幸福感

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
1 完全に不幸 (不満足)	25	5.8	8	5.3	8	12.7	9	4.2
2	14	3.2	4	2.6	5	7.9	5	2.3
3	25	5.8	8	5.3	5	7.9	12	5.6
4	25	5.8	5	3.3	9	14.3	11	5.1
5	58	13.5	21	13.8	8	12.7	29	13.4
6	47	10.9	17	11.2	6	9.5	24	11.1
7	42	9.7	9	5.9	6	9.5	27	12.5
8	60	13.9	14	9.2	4	6.3	42	19.4
9	46	10.7	12	7.9	3	4.8	31	14.4
10 完全に幸福 (満足)	22	5.1	8	5.3	1	1.6	13	6.0
無回答	67	15.5	46	30.3	8	12.7	13	6.0
平均値	6.07		5.94		4.65		6.51	
標準偏差	2.51		2.54		2.49		2.35	

質問 27. 問題、対応：1. 問題となる薬物やそれが身体や心にもたらす悪影響について知っている。

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
あてはまる	278	64.5	90	59.2	34	54.0	154	71.3
ややあてはまる	88	20.4	26	17.1	18	28.6	44	20.4
あまりあてはまらない	12	2.8	4	2.6	2	3.2	6	2.8
あてはまらない	9	2.1	5	3.3	2	3.2	2	0.9
無回答	44	10.2	27	17.8	7	11.1	10	4.6
加重平均値	1.36		1.39		1.50		1.30	
標準偏差	0.66		0.74		0.74		0.57	

質問 27. 問題、対応：2. 薬物依存症とはどういうものかわかっている

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
あてはまる	249	57.8	71	46.7	30	47.6	148	68.5
ややあてはまる	114	26.5	43	28.3	21	33.3	50	23.1
あまりあてはまらない	15	3.5	8	5.3	4	6.3	3	1.4
あてはまらない	6	1.4	3	2.0	1	1.6	2	0.9
無回答	47	10.9	27	17.8	7	11.1	13	6.0

加重平均値	1.4	1.5	1.5	1.3
	2	4	7	1
標準偏差	0.6	0.7	0.7	0.5
	5	2	1	5

質問 27. 問題、対応：3. 薬物依存症の相談や治療を助けてくれる機関・団体について知っている

	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	204	47.	49	32.	28	44.	127	58.
		3		2		4		8
ややあてはまる	113	26.	36	23.	16	25.	61	28.
		2		7		4		2
あまりあてはまらない	50	11.	26	17.	11	17.	13	6.0
		6		1		5		
あてはまらない	18	4.2	13	8.6	2	3.2	3	1.4
無回答	46	10.	28	18.	6	9.5	12	5.6
		7		4				
加重平均値	1.6		2.0		1.7		1.4	
	9		2		7		7	
標準偏差	0.8		1.0		0.8		0.6	
	7		2		9		8	

質問 27. 問題、対応：4. 薬物をやめられないのは本人の性格や意志の問題ではないと知っている

	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	236	54.	58	38.	24	38.	154	71.
		8		2		1		3
ややあてはまる	115	26.	49	32.	23	36.	43	19.
		7		2		5		9
あまりあてはまらない	26	6.0	17	11.	7	11.	2	0.9
				2		1		
あてはまらない	13	3.0	5	3.3	4	6.3	4	1.9
無回答	41	9.5	23	15.	5	7.9	13	6.0
				1				
加重平均値	1.5		1.7		1.8		1.2	
	3		6		4		9	
標準偏差	0.7		0.8		0.8		0.5	
	6		3		9		9	

質問 27. 問題、対応：5. 薬物をやめられないのは病気のせいだということが理解できている

	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	238	55.	60	39.	28	44.	150	69.
		2		5		4		4
ややあてはまる	103	23.	34	22.	19	30.	50	23.
		9		4		2		1
あまりあてはまらない	28	6.5	20	13.	6	9.5	2	0.9
				2				
あてはまらない	19	4.4	12	7.9	4	6.3	3	1.4
無回答	43	10.	26	17.	6	9.5	11	5.1
		0		1				
加重平均値	1.5		1.8		1.7		1.3	
	6		7		5		1	
標準偏差	0.8		1.0		0.9		0.5	
	3		0		1		7	

質問 27. 問題、対応：6. 「当事者」と薬物問題の治療・相談について話し合うことができる

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
あてはまる	138	32.	52	34.	19	30.	67	31.
ややあてはまる	123	28.	41	27.	20	31.	62	28.
あまりあてはまらない	64	14.	21	13.	10	15.	33	15.
あてはまらない	58	13.	11	7.2	9	14.	38	17.
無回答	48	11.	27	17.	5	7.9	16	7.4
加重平均値	2.1		1.9		2.1		2.2	
標準偏差	1.0		0.9		1.0		1.1	
	6		7		6		1	

質問 27.問題、対応：7.「当事者」の薬物問題への過保護・過干渉な対応はよくないことを知っている

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
あてはまる	255	59.	68	44.	32	50.	155	71.
ややあてはまる	99	23.	33	21.	20	31.	46	21.
あまりあてはまらない	21	4.9	14	9.2	4	6.3	3	1.4
あてはまらない	10	2.3	6	3.9	3	4.8	1	0.5
無回答	46	10.	31	20.	4	6.3	11	5.1
加重平均値	1.4		1.6		1.6		1.2	
標準偏差	0.7		0.8		0.8		0.5	
	2		7		3		1	

質問 27.問題、対応：8.薬物問題の相談・医療機関にアドバイスをもらうことができている

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
あてはまる	184	42.	36	23.	29	46.	119	55.
ややあてはまる	90	20.	23	15.	19	30.	48	22.
あまりあてはまらない	67	15.	41	27.	6	9.5	20	9.3
あてはまらない	40	9.3	21	13.	3	4.8	16	7.4
無回答	50	11.	31	20.	6	9.5	13	6.0
加重平均値	1.9		2.3		1.7		1.6	
標準偏差	1.0		1.0		0.8		0.9	
	4		9		7		5	

質問 27.問題、対応：9.薬物依存症の自助グループ（NA）や自助活動に基づくリハビリ施設（ダルクなど）について知っている

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
あてはまる	260	60.	59	38.	36	57.	165	76.
	3		8		1		4	

ややあてはまる	87	20.2	36	23.7	17	27.0	34	15.7
あまりあてはまらない	22	5.1	14	9.2	5	7.9	3	1.4
あてはまらない	16	3.7	14	9.2	-	-	2	0.9
無回答	46	10.7	29	19.1	5	7.9	12	5.6
加重平均値	1.46		1.86		1.47		1.23	
標準偏差	0.78		1.02		0.65		0.51	

質問 27. 問題、対応：10. 「当事者」が治療を受けることを手助けできる

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
あてはまる	218	50.6	63	41.4	34	54.0	121	56.0
ややあてはまる	109	25.3	41	27.0	18	28.6	50	23.1
あまりあてはまらない	38	8.8	14	9.2	3	4.8	21	9.7
あてはまらない	23	5.3	7	4.6	4	6.3	12	5.6
無回答	43	10.0	27	17.8	4	6.3	12	5.6
加重平均値	1.65		1.72		1.61		1.63	
標準偏差	0.88		0.88		0.87		0.89	

質問 27. 問題、対応：11. 今後の薬物問題の改善に希望を持っている

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
あてはまる	212	49.2	76	50.0	30	47.6	106	49.1
ややあてはまる	112	26.0	30	19.7	15	23.8	67	31.0
あまりあてはまらない	49	11.4	14	9.2	9	14.3	26	12.0
あてはまらない	16	3.7	6	3.9	3	4.8	7	3.2
無回答	42	9.7	26	17.1	6	9.5	10	4.6
加重平均値	1.66		1.60		1.74		1.68	
標準偏差	0.85		0.87		0.92		0.82	

質問 27. コミュニケーションについて：1. 「当事者」の問題に巻き込まれてしまう

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
あてはまる	88	20.4	29	19.1	22	34.9	37	17.1
ややあてはまる	148	34.3	45	29.6	18	28.6	85	39.4
あまりあてはまらない	81	18.8	19	12.5	10	15.9	52	24.1
あてはまらない	68	15.8	32	21.1	6	9.5	30	13.9
無回答	46	10.7	27	17.7	7	11.1	12	5.6

	7	8	1	
加重平均値	2.3	2.4	2.0	2.3
	4	3	0	7
標準偏差	1.0	1.1	1.0	0.9
	2	1	1	5

質問 27. コミュニケーションについて：2. 「当事者」の無理な要求をきちっと断れる

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	147	34.	53	34.	20	31.	74	34.
		1		9		7		3
ややあてはまる	134	31.	41	27.	19	30.	74	34.
		1		0		2		3
あまりあてはまらない	76	17.	21	13.	15	23.	40	18.
		6		8		8		5
あてはまらない	29	6.7	11	7.2	2	3.2	16	7.4
無回答	45	10.	26	17.	7	11.	12	5.6
		4		1		1		
加重平均値	1.9		1.9		1.9		1.9	
	7		2		8		9	
標準偏差	0.9		0.9		0.8		0.9	
	4		7		8		4	

質問 27. コミュニケーションについて：3. 「当事者」に世話をやきすぎてしまう

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	72	16.	29	19.	9	14.	34	15.
		7		1		3		7
ややあてはまる	139	32.	53	34.	23	36.	63	29.
		3		9		5		2
あまりあてはまらない	111	25.	33	21.	21	33.	57	26.
		8		7		3		4
あてはまらない	66	15.	11	7.2	4	6.3	51	23.
		3						6
無回答	43	10.	26	17.	6	9.5	11	5.1
		0		1				
加重平均値	2.4		2.2		2.3		2.6	
	4		1		5		1	
標準偏差	0.9		0.9		0.8		1.0	
	8		0		3		4	

質問 27. コミュニケーションについて：4. 「当事者」を責めてばかりになってしまう

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	40	9.3	17	11.	8	12.	15	6.9
				2		7		
ややあてはまる	91	21.	38	25.	16	25.	37	17.
		1		0		4		1
あまりあてはまらない	134	31.	40	26.	19	30.	75	34.
		1		3		2		7
あてはまらない	120	27.	30	19.	13	20.	77	35.
		8		7		6		6
無回答	46	10.	27	17.	7	11.	12	5.6
		7		8		1		
加重平均値	2.8		2.6		2.6		3.0	
	7		6		6		5	
標準偏差	0.9		0.9		1.0		0.9	
	7		9		0		2	

質問 27. コミュニケーションについて : 5. 「当事者」におびえてしまう

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	53	12.	13	8.6	13	20.	27	12.
		3				6		5
ややあてはまる	79	18.	23	15.	7	11.	49	22.
		3		1		1		7
あまりあてはまらない	96	22.	31	20.	17	27.	48	22.
		3		4		0		2
あてはまらない	158	36.	59	38.	19	30.	80	37.
		7		8		2		0
無回答	45	10.	26	17.	7	11.	12	5.6
		4		1		1		
加重平均値	2.9		3.0		2.7		2.8	
	3		8		5		9	
標準偏差	1.0		1.0		1.1		1.0	
	8		3		6		7	

質問 27. コミュニケーションについて : 6. 「当事者」の心配で頭がいっぱいである

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	95	22.	41	27.	26	41.	28	13.
		0		0		3		0
ややあてはまる	135	31.	51	33.	18	28.	66	30.
		3		6		6		6
あまりあてはまらない	97	22.	20	13.	7	11.	70	32.
		5		2		1		4
あてはまらない	62	14.	14	9.2	7	11.	41	19.
		4				1		0
無回答	42	9.7	26	17.	5	7.9	11	5.1
				1				
加重平均値	2.3		2.0		1.9		2.6	
	2		6		1		0	
標準偏差	1.0		0.9		1.0		0.9	
	1		7		3		6	

質問 27. コミュニケーションについて : 7. 「当事者」の治療・回復に対する努力をほめることができる

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	178	41.	63	41.	24	38.	91	42.
		3		4		1		1
ややあてはまる	141	32.	44	28.	22	34.	75	34.
		7		9		9		7
あまりあてはまらない	46	10.	15	9.9	8	12.	23	10.
		7				7		6
あてはまらない	23	5.3	3	2.0	2	3.2	18	8.3
無回答	43	10.	27	17.	7	11.	9	4.2
		0		8		1		
加重平均値	1.7		1.6		1.7		1.8	
	8		6		9		5	
標準偏差	0.8		0.7		0.8		0.9	
	8		8		2		4	

質問 27. コミュニケーションについて : 8. おちついて「当事者」の回復を見守ることができる

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
--	----	---	----	---	----	---	----	---

計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
あてはまる	147	34.	61	40.	15	23.	71	32.
		1		1		8		9
ややあてはまる	161	37.	52	34.	21	33.	88	40.
		4		2		3		7
あまりあてはまらない	64	14.	12	7.9	19	30.	33	15.
		8				2		3
あてはまらない	20	4.6	4	2.6	3	4.8	13	6.0
無回答	39	9.0	23	15.	5	7.9	11	5.1
				1				
加重平均値	1.8		1.6		2.1		1.9	
	9		8		7		4	
標準偏差	0.8		0.7		0.8		0.8	
	6		7		8		7	

質問 28-1. 神経過敏に感じましたか

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
いつも	57	13.	22	14.	9	14.	26	12.
		2		5		3		0
たいてい	52	12.	19	12.	18	28.	15	6.9
		1		5		6		
ときどき	93	21.	32	21.	12	19.	49	22.
		6		1		0		7
少しだけ	106	24.	25	16.	9	14.	72	33.
		6		4		3		3
全くない	79	18.	27	17.	9	14.	43	19.
		3		8		3		9
無回答	44	10.	27	17.	6	9.5	11	5.1
		2		8				
加重平均値	3.2		3.1		2.8		3.4	
	5		3		4		4	
標準偏差	1.3		1.3		1.3		1.2	
	2		9		2		6	

質問 28-2. 絶望的だと感じましたか

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0
いつも	35	8.1	11	7.2	7	11.	17	7.9
						1		
たいてい	23	5.3	8	5.3	9	14.	6	2.8
						3		
ときどき	89	20.	35	23.	13	20.	41	19.
		6		0		6		0
少しだけ	95	22.	25	16.	12	19.	58	26.
		0		4		0		9
全くない	141	32.	46	30.	15	23.	80	37.
		7		3		8		0
無回答	48	11.	27	17.	7	11.	14	6.5
		1		8		1		
加重平均値	3.7		3.7		3.3		3.8	
	4		0		4		8	
標準偏差	1.2		1.2		1.3		1.2	
	7		7		7		1	

質問 28-3. そわそわ、落ち着きなく感じましたか

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
		.0		.0		.0		.0

いつも	26	6.0	10	6.6	5	7.9	11	5.1
たいてい	29	6.7	9	5.9	9	14.3	11	5.1
ときどき	86	20.0	27	17.8	15	23.8	44	20.4
少しだけ	108	25.1	29	19.1	15	23.8	64	29.6
全くない	131	30.4	49	32.2	12	19.0	70	32.4
無回答	51	11.8	28	18.4	7	11.1	16	7.4
加重平均値	3.76		3.79		3.36		3.86	
標準偏差	1.20		1.26		1.24		1.13	

質問 28-4. 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
いつも	30	7.0	10	6.6	8	12.7	12	5.6
たいてい	41	9.5	15	9.9	12	19.0	14	6.5
ときどき	93	21.6	32	21.1	13	20.6	48	22.2
少しだけ	110	25.5	30	19.7	17	27.0	63	29.2
全くない	113	26.2	38	25.0	9	14.3	66	30.6
無回答	44	10.2	27	17.8	4	6.3	13	6.0
加重平均値	3.61		3.57		3.12		3.77	
標準偏差	1.23		1.26		1.29		1.15	

質問 28-5. 何をするのも骨折りだと感じましたか

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
いつも	22	5.1	7	4.6	5	7.9	10	4.6
たいてい	31	7.2	10	6.6	7	11.1	14	6.5
ときどき	87	20.2	32	21.1	14	22.2	41	19.0
少しだけ	108	25.1	34	22.4	15	23.8	59	27.3
全くない	134	31.1	42	27.6	14	22.2	78	36.1
無回答	49	11.4	27	17.8	8	12.7	14	6.5
加重平均値	3.79		3.75		3.47		3.90	
標準偏差	1.17		1.17		1.26		1.14	

質問 28-6. 自分は価値のない人間だと感じましたか

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0

いつも	14	3.2	4	2.6	4	6.3	6	2.8
たいてい	21	4.9	4	2.6	8	12.7	9	4.2
ときどき	62	14.4	24	15.8	8	12.7	30	13.9
少しだけ	97	22.5	28	18.4	16	25.4	53	24.5
全くない	190	44.1	64	42.1	21	33.3	105	48.6
無回答	47	10.9	28	18.4	6	9.5	13	6.0
加重平均値	4.1		4.1		3.7		4.1	
標準偏差	1.0		1.0		1.2		1.0	
	9		5		9		4	

質問 29-1.薬物による身体の問題

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	138	32.0	33	21.7	30	47.6	75	34.7
過去のみ	169	39.2	56	36.8	18	28.6	95	44.0
なかった	72	16.7	33	21.7	8	12.7	31	14.4
無回答	52	12.1	30	19.7	7	11.1	15	6.9

質問 29-2.幻覚妄想状態

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	51	11.8	7	4.6	12	19.0	32	14.8
過去のみ	208	48.3	62	40.8	31	49.2	115	53.2
なかった	115	26.7	44	28.9	13	20.6	58	26.9
無回答	57	13.2	39	25.7	7	11.1	11	5.1

質問 29-3.うつ状態

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	74	17.2	9	5.9	21	33.3	44	20.4
過去のみ	170	39.4	59	38.8	22	34.9	89	41.2
なかった	128	29.7	49	32.2	13	20.6	66	30.6
無回答	59	13.7	35	23.0	7	11.1	17	7.9

質問 29-4.自傷行為・自殺未遂

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
		.0		.0		.0		.0

現在ある	16	3.7	3	2.0	4	6.3	9	4.2
過去のみ	111	25. 8	20	13. 2	18	28. 6	73	33. 8
なかった	244	56. 6	93	61. 2	33	52. 4	118	54. 6
無回答	60	13. 9	36	23. 7	8	12. 7	16	7.4

質問 29-5. 犯罪（薬物関連）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100 .0	152	100 .0	63	100 .0	216	100 .0
現在ある	62	14. 4	28	18. 4	13	20. 6	21	9.7
過去のみ	174	40. 4	61	40. 1	20	31. 7	93	43. 1
なかった	145	33. 6	34	22. 4	24	38. 1	87	40. 3
無回答	50	11. 6	29	19. 1	6	9.5	15	6.9

質問 29-6. 犯罪（薬物関連犯罪以外）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100 .0	152	100 .0	63	100 .0	216	100 .0
現在ある	28	6.5	11	7.2	8	12. 7	9	4.2
過去のみ	125	29. 0	40	26. 3	16	25. 4	69	31. 9
なかった	223	51. 7	68	44. 7	33	52. 4	122	56. 5
無回答	55	12. 8	33	21. 7	6	9.5	16	7.4

質問 29-7. 飲酒運転

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100 .0	152	100 .0	63	100 .0	216	100 .0
現在ある	2	0.5	-	-	1	1.6	1	0.5
過去のみ	78	18. 1	18	11. 8	9	14. 3	51	23. 6
なかった	295	68. 4	102	67. 1	45	71. 4	148	68. 5
無回答	56	13. 0	32	21. 1	8	12. 7	16	7.4

質問 29-8. パートナー・親への暴力

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100 .0	152	100 .0	63	100 .0	216	100 .0
現在ある	6	1.4	2	1.3	2	3.2	2	0.9
過去のみ	142	32. 9	37	24. 3	20	31. 7	85	39. 4
なかった	235	54. 5	84	55. 3	34	54. 0	117	54. 2
無回答	48	11. 1	29	19. 1	7	11. 1	12	5.6

質問 29-9. 子への暴力・不適切な養育

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	1	0.2	1	0.7	-	-	-	-
過去のみ	55	12.8	20	13.2	6	9.5	29	13.4
なかった	300	69.6	93	61.2	46	73.0	161	74.5
無回答	75	17.4	38	25.0	11	17.5	26	12.0

質問 29-10. 異性関係の問題

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	21	4.9	5	3.3	3	4.8	13	6.0
過去のみ	181	42.0	60	39.5	26	41.3	95	44.0
なかった	173	40.1	53	34.9	29	46.0	91	42.1
無回答	56	13.0	34	22.4	5	7.9	17	7.9

質問 29-11. 脅しや言葉の暴力

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	34	7.9	3	2.0	8	12.7	23	10.6
過去のみ	197	45.7	62	40.8	26	41.3	109	50.5
なかった	150	34.8	55	36.2	24	38.1	71	32.9
無回答	50	11.6	32	21.1	5	7.9	13	6.0

質問 29-12. ギャンブル問題

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	9	2.1	4	2.6	2	3.2	3	1.4
過去のみ	74	17.2	29	19.1	7	11.1	38	17.6
なかった	299	69.4	88	57.9	48	76.2	163	75.5
無回答	49	11.4	31	20.4	6	9.5	12	5.6

質問 29-13. 薬物問題による就労困難

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100.0	152	100.0	63	100.0	216	100.0
現在ある	85	19.7	9	5.9	20	31.7	56	25.9
過去のみ	194	45.0	65	42.8	22	34.9	107	49.5

なかった	98	22. 7	44	28. 9	14	22. 2	40	18. 5
無回答	54	12. 5	34	22. 4	7	11. 1	13	6.0

質問 29-14. 家庭不和・別居・離婚

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
現在ある	63	14. 6	17	11. 2	14	22. 2	32	14. 8
過去のみ	167	38. 7	55	36. 2	20	31. 7	92	42. 6
なかった	141	32. 7	48	31. 6	22	34. 9	71	32. 9
無回答	60	13. 9	32	21. 1	7	11. 1	21	9.7

質問 29-15. 経済的困難（浪費、借金）

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
現在ある	97	22. 5	22	14. 5	23	36. 5	52	24. 1
過去のみ	214	49. 7	74	48. 7	28	44. 4	112	51. 9
なかった	76	17. 6	26	17. 1	8	12. 7	42	19. 4
無回答	44	10. 2	30	19. 7	4	6.3	10	4.6

質問 29-16. 暴力・虐待の被害体験

	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
計	431	100	152	100	63	100	216	100
現在ある	11	2.6	2	1.3	4	6.3	5	2.3
過去のみ	115	26. 7	30	19. 7	17	27. 0	68	31. 5
なかった	246	57. 1	85	55. 9	36	57. 1	125	57. 9
無回答	59	13. 7	35	23. 0	6	9.5	18	8.3